

# 北九州港長期構想検討委員会 第 2 回委員会 説明資料

令和 4 年 5 月 1 1 日 (水)

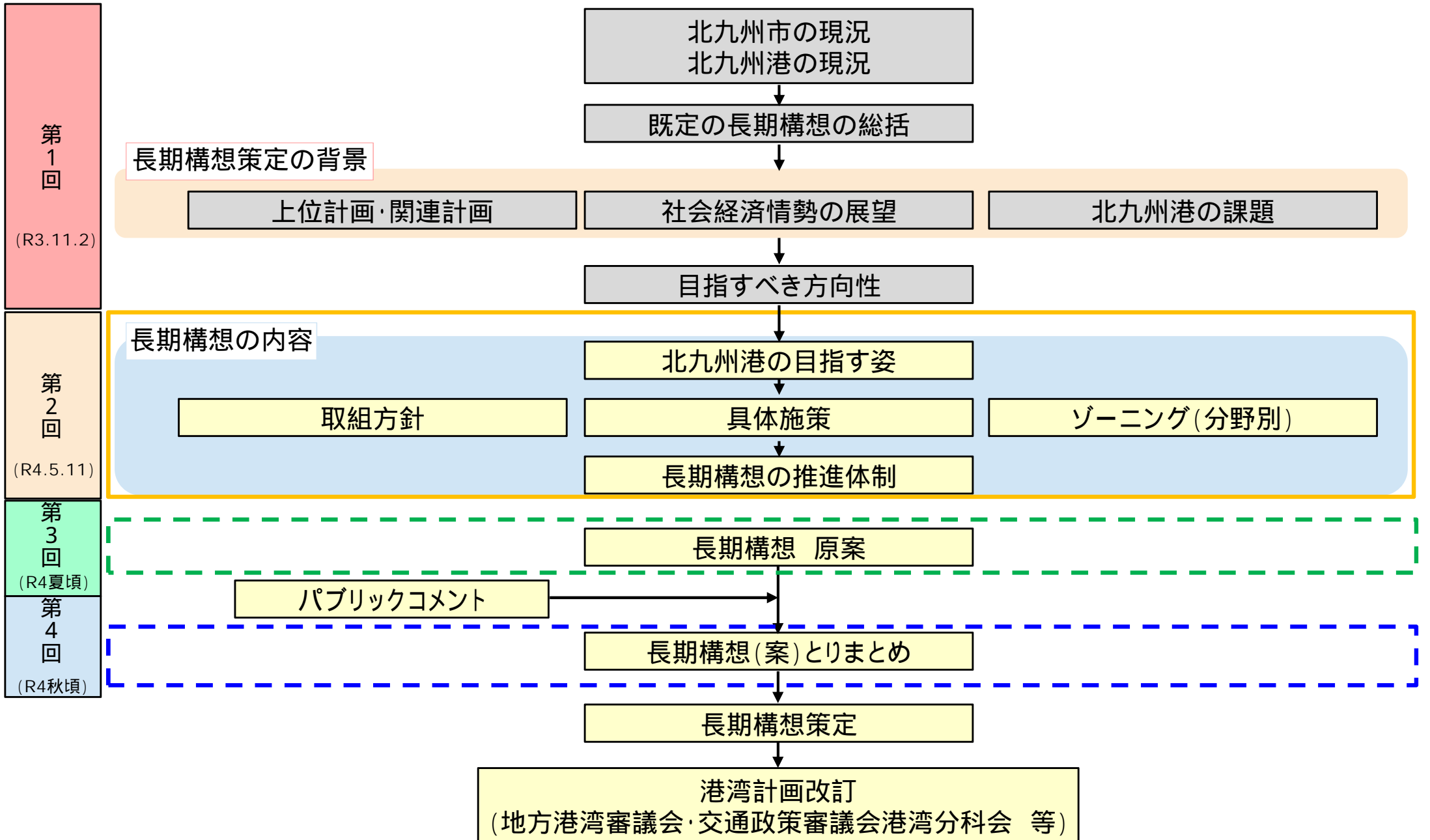
北九州市港湾空港局

# 目 次

- 1 第1回委員会での主な意見と対応 . . . . . 3
  
- 2 長期構想の内容 . . 13
  - 2 - 1 長期構想の基本理念 . . . . . 13
  - 2 - 2 北九州港の目指す姿 . . . . . 15
  - 2 - 3 取組方針と具体施策 . . . . . 21
  - 2 - 4 ゾーニング（分野別） . . . . . 57
  - 2 - 5 長期構想の推進体制 . . . . . 62

# 港湾計画改訂までの流れ

令和4年(2022年)中に、新たに『北九州港長期構想』を策定する予定。  
令和5年度(2023年)に、長期構想を踏まえ『北九州港港湾計画』を改訂する予定。



# 1 第1回委員会での 主な意見と対応

### 全体に対する意見

主な意見	対応
<p>「思想性」や「北九州港らしさ」をどのように出していくのかが重要である。港湾行政の一定の方向性、メッセージは、民間企業が投資を拡大していく上でも重要である。</p>	<p>北九州市ではSDGsの達成を目標に掲げており、北九州港はその実現に向け重要な役割を果たすことが期待されている。よって、長期構想の理念を「SDGsリーディングポート 北九州」とした。この理念のもと、「物流・産業」「環境・エネルギー」「人流・賑わい」「防災・危機管理」の観点から、4つの目指す姿を設定した。また、4つの目指す姿の実現に向けて、「カーボンニュートラルの実現」「DXの進展」等、近年の社会的要請や技術の進歩を踏まえ、具体施策の検討を行った。 ( P16)</p>
<p>「1. 物流・産業」と「2. 環境・エネルギー」は密接に関わっており、1.と2.の結び付けを議論し、上手く長期構想の方向性に打ち出していくと良い。</p>	
<p>温暖化はもはや環境問題ではなく経済の問題にシフトしたと実感している。再エネから次は自動車、そしてあらゆる生産プロセスが変化する中、北九州港ではどんな強みが発揮できるかを考えると良い。</p>	
<p>DXについて、単に自動化や機械化するだけでなく、仕事やビジネスの仕方を変えていく必要がある。物流の機能性や生産性、価値を上げるという意味で、その視座を明確にすると良い。 単純につなげば終わりではなく、継続的にその活用の仕方等を考えると良い。</p>	<p>DXに関する内容について、次世代高規格コンテナターミナルや次世代高規格フェリー・ROROターミナル、観光地におけるデジタル技術の活用等を具体施策の中に盛り込んでいる。自動化するだけではなく、業務の効率化・軽減や観光地の魅力向上につながるようにしていくこと等も具体施策に盛り込んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 - 次世代高規格コンテナターミナルの形成 【P.25】</li> <li>2 - 次世代高規格フェリー・ROROターミナルの形成 【P.27】</li> <li>1 - モーダルシフトを促進するフェリー・RORO拠点機能の強化 【P.38】</li> <li>1 - みなとの価値を活かした観光拠点の魅力の向上 【P.42】</li> <li>2 - 市民に親しまれる水辺空間の魅力の向上【P.45】</li> <li>1 - 災害に強い基幹的海上交通ネットワークの拡充 【P.47】</li> </ul>
<p>港というものを地域の方々にもっと認知いただきたい。策定のプロセスというものを地域の方に理解いただく良い機会にすると良い。</p>	<p>利用者の意見をヒアリングしながら進めるとともに、ホームページでの公表やパブリックコメントの実施を行う。加えて、市政だよりやSNS、民間団体へのメール等を活用し、市民に広く周知していく。</p>

### 『物流・産業』に対する意見

主な意見	対応
<p>太刀浦コンテナターミナルは、渋滞もあり、第1CT、第2CTと2つに分かれて使いづらいため、別のところにコンテナターミナルを新たに整備する等思い切ったことを考えると良い。例えば、北九州空港沖に新たなCTを造るというのも一つの考え方だと思う。</p>	<p>空港島沖や自然海岸前面等の埋立により、新たなCTを整備することは、航空法による高さ制限や環境面の影響等から実現は難しいため、既存のコンテナターミナルを機能強化することを具体施策に盛り込んだ。</p> <p>1 - 次世代高規格コンテナターミナルの形成【P.25】</p>
<p>DX・デジタル化・AIターミナル等の言葉は方向性の中には出てこなかったもので、北九州港として目指していることを入れると良い。</p>	<p>AIや情報技術を活用した次世代高規格コンテナターミナルや次世代高規格フェリー・ROROターミナルの形成を具体施策に盛り込んだ。</p> <p>1 - 次世代高規格コンテナターミナルの形成【P.25】 2 - 次世代高規格フェリー・ROROターミナルの形成【P.27】</p>
<p>危険物や可燃物の輸送が多い工場では、ひびきCTを使いたいと考えており、リーファー設備を利用出来るように、危険物置場を拡張する等、取扱いやすい環境を整備していただきたい。</p>	<p>物流改善の提案を具体施策に盛り込んでおり、その中で危険物コンテナの取扱環境の整備を実施していく。</p> <p>1 - アジア航路・国際フィーダー航路の拡充【P.24】</p>
<p>自動車産業について、2030年頃には電気自動車に転換し、部品メーカーも減ると言われている。今後、どのような動きが出るか注視する必要がある。</p>	<p>EV化の進展に伴う新規貨物の創出や次世代自動車産業の誘致を具体施策に盛り込んでいる。なお、今後の自動車産業の動向を注視するとともに、その変化に合わせ継続的にPDCAサイクルを実行する。</p> <p>1 - アジア航路・国際フィーダー航路の拡充【P.24】 5 - 産業用地の確保と企業の立地促進【P.32】</p>

### 『物流・産業』に対する意見

主な意見	対応
<p>新門司地区において、将来モーダルシフトが進んで需要が増加した場合、港内のシャーシやコンテナを扱う荷捌き地の確保が課題となってくる。</p>	<p>新門司地区における、フェリーターミナルの荷捌き地の拡張を具体施策に盛り込んだ。</p> <p>2 - 次世代高規格フェリー・ROROターミナルの形成【P.27】</p>
<p>バルク貨物について、船舶の大型化や輸送量の増加に対応できず、混雑して、沖待ちが発生し、瀬取りの話が出るほどひっ迫している。是非、バルクターミナル機能を強化していただきたい。</p>	<p>バルク船の大型化や埠頭の混雑に対応する機能強化を具体施策に盛り込んだ。</p> <p>3 - 国際バルク貨物ターミナルの拡充【P.30】</p>
<p>主要港湾施設から高速道路のICへのアクセス等、広域的な陸上交通との関係等の情報も確認の上、検討すると良い。</p>	<p>臨港地区内や背後の交通ネットワークの確認を行い、道路整備等によるネットワーク強化を具体施策に盛り込んだ。</p> <p>4 - アクセス道路の充実【P.31】</p>
<p>目指すべき方向性の「先端成長産業等が集積する活力ある産業空間の形成」については、先端成長産業の中身が具体的にイメージできるよう、踏み込むと良い。</p>	<p>市が先端成長産業として目指しているもののうち、主なものとして「風力発電関連産業」、「水素・燃料アンモニア等脱炭素エネルギー関連産業」、「次世代自動車関連産業」、「半導体関連産業」を具体的に記載した。</p> <p>5 - 産業用地の確保と企業の立地促進【P.32】</p>

### 『環境・エネルギー』に対する意見

主な意見	対応
<p>九州は太陽光発電が非常に盛んで全国的にもウエイトが高いが、昼間しか発電できないため、不安定で自ずと限界がある。今後注目が集まる洋上風力のほか、地熱や水素、LNGバンカリング等、他のエネルギーとも合わせて、新たな発展があるのではないか。</p>	<p>洋上風力発電の導入による脱炭素化の促進を具体施策に盛り込んだ。 水素・燃料アンモニア等の利活用を促進する拠点形成を具体施策に盛り込んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 - 洋上ウインドファームの集積と風力発電関連産業の総合拠点の形成【P.33、P.34】</li> <li>1 - 水素・燃料アンモニア等リキッドバルク拠点の形成【P.35、P.36】</li> <li>1 - カーボンフリーターミナルの形成【P.37】</li> </ul>
<p>風力発電産業の総合拠点化が述べられているが、雇用の創出という観点からも非常に重要である。</p>	<p>風力発電関連産業の総合拠点の形成において、雇用の創出等につながる産業の活性化を図るため、4つの拠点機能（風車積出拠点、風車部材の輸出入/移出入拠点、O&amp;M拠点、産業拠点）からなる総合拠点の形成を具体施策に盛り込んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 - 洋上ウインドファームの集積と風力発電関連産業の総合拠点の形成【P.34】</li> </ul>
<p>洋上風力発電は、夜間も発電できるので余剰が発生する。水素にして貯めるのも一つの方法で、エネルギーのマネジメントは重要な点になってくる。</p>	<p>洋上風力発電等の再生可能エネルギーの余剰電力等を利用した水素製造の促進や貯蔵を具体施策に盛り込んだ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 - 水素・燃料アンモニア等リキッドバルク拠点の形成【P.35】</li> </ul>
<p>工場内の火力発電設備は、まず数年以内にLNGに更新することを考えているが、さらに20年後にはアンモニアや水素が主流となるとわれ、それらの受け入れ態勢等について北九州市と一体となり考えていきたい。</p>	<p>水素・燃料アンモニア等の輸入や貯蔵を可能とする受入環境の整備を具体施策に盛り込んでおり、実現に向け関係者と協議を進めていきたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 - 水素・燃料アンモニア等リキッドバルク拠点の形成【P.35】</li> </ul>



### 『環境・エネルギー』に対する意見

主な意見	対応
<p>30年先を考えれば、燃料にアンモニアを利用するような船舶も出てくる。ルール改正もあると思うので、対応できるよう見据える必要がある。</p>	<p>将来的に船舶の燃料がLNG等の新たな燃料に代わることを見据え、それらのバンカリングに対応した受入環境の整備を具体施策に盛り込んだ。                      なお、ルール改正等については具体的な案件に応じて国等と協議をしていきたい。</p> <p>1 - 水素・燃料アンモニア等リキッドバルク拠点の形成【P.36】</p>
<p>ブルーカーボン生態系の保全・修復について、今後、港において海草や藻場、生き物との共生等を加味しながら港湾整備を行っていく新しい方向を考える必要がある。</p>	<p>ブルーカーボン生態系の保全・再生・創造を具体政策に盛り込んだ。                      北九州港においても、響灘地区等でコンクリートブロックを用いた生き物が共生する藻場の造成を行っており、今後も推進していきたい。</p> <p>1 - ブルーカーボン生態系の保全・再生・創造【P.39】</p>
<p>海面処分場の確保について、浚渫土砂は必ず出るので、いかに効率的にその処分を行うか、どのような場所が適正かという観点で工夫の余地がある。</p>	<p>浚渫土砂や廃棄物を処分する海面処分場の安定的な確保について、海域環境に配慮しながら、運搬距離や将来的な土地利用等を踏まえ、処分場の配置の検討を行うことを具体施策に盛り込んだ。</p> <p>2 - 海面処分場の計画的な配置・整備【P.41】</p>
<p>カーボンニュートラルを検討する際には、バイオマス発電の燃料関係等の将来の動向を押さえて施策を検討すると良い。</p>	<p>バイオマス発電については、北九州港周辺でも更なる立地が見込まれており、今後の北九州港での燃料の取扱量増加等を踏まえ、具体施策に盛り込んだ。</p> <p>3 - 国際バルク貨物ターミナルの拡充【P.30】</p>

### 『人流・賑わい』に対する意見

主な意見	対応
市外から滞在時間の長いお客様に来ていただくことが大切である。	観光拠点間の周遊性を高める等により、観光客の滞在時間の長時間化を目指すことを盛り込んだ。 1 - 観光拠点ネットワークの形成 [P.43]
海外でも門司港は有名であり、みなととしての価値と観光としての価値を組み合わせ、産と官がスクラムを組んで取り組めば相乗効果が出る。	産業観光を活かした賑わいづくりや門司港レトロ地区において、観光客等の滞在時間の長時間化を図るため、官民が連携を図りながら、観光拠点の拡大、魅力向上を図ることを具体施策に盛り込んだ。 長期構想の推進体制に官民連携の内容を盛り込んだ。 ( P.63 ) 1 - みなとの価値を活かした観光拠点の魅力の向上 [P.42]
北九州市内の産業観光を見ていただくと良い。	洋上風力発電等、新たな産業観光も活かし、観光拠点の強化を目指すことを具体施策に盛り込んだ。 1 - みなとの価値を活かした観光拠点の魅力の向上 [P.42]
風車やコンテナターミナル等、普段見ることができない風景等も産業観光にすることも考えると良い。	1 - みなとの価値を活かした観光拠点の魅力の向上 [P.42]
都市機能誘導区域は、門司港や小倉駅新幹線口周辺等にあるが、臨港地区と隣接している。都市計画の戦略と港湾の施策をリンクさせて考えていくと良い。	門司港レトロや小倉駅新幹線口等が観光人流拠点と位置づけられている北九州市都市計画マスタープランの地域別構想と長期構想の整合が取れるよう、具体施策やゾーニングを作成した。 1 - みなとの価値を活かした観光拠点の魅力の向上 [P.42]

### 『人流・賑わい』に対する意見

主な意見	対応
<p>DXを活用して、まちの観光情報やアクセス情報等を上手く盛り込む等、来訪客に利便性の高い情報サービスを提供していけば、ビジネスにも使える。</p>	<p>門司港レトロ地区等、それぞれの観光拠点間で、デジタル技術を活用し、観光客の利便性向上、観光地の魅力向上を目指すこと等を具体施策に盛り込んだ。</p> <p>1 - 観光拠点ネットワークの形成【P.43】</p>
<p>マリンレジャー事故が増えている。関門海峡や周防灘、玄界灘は良い漁場となっているので遊漁船やプレジャーボートの活動が活発な地域である。事故を防止する上で拠点は重要であり、海の安全と賑わいは両輪と考えている。</p>	<p>新門司マリーナの機能拡充等、マリンレジャーの拠点化を具体施策に盛り込んだ。</p> <p>マリンレジャーを拠点化し、一般の漁船等と棲み分けを行うことで、マリンレジャー事故の減少にも資すると考える。なお、ソフト対策については、ご指導ご協力をお願いしたい。</p> <p>2 - マリンレジャー拠点の充実【P.46】</p>
<p>ウインドサーフィン等、新しいマリンレジャーの方が危ないとも聞いているので、今後安全を確保するという観点でソフト面での整備にも協力ができる。</p>	
<p>臨港地区や水辺の資源は、物流としてだけでなく、地域資源として活用を広げていくと良い。</p>	<p>関門地区等での海辺と一体となった臨海部空間の再開発を具体施策に盛り込んだ。</p> <p>市民が親しめる水辺空間の活用等を具体施策に盛り込んだ。</p> <p>1 - みなとの価値を活かした観光拠点の魅力の向上【P.42】</p> <p>2 - 市民に親しまれる水辺空間の魅力の向上【P.45】</p>
<p>北九州市は海岸線が非常に長いが、市民が行けるところは非常に少ない。是非、市民に親しまれる水辺空間として活用していただけるようなことを考えると良い。</p>	
<p>クルーズ船の寄港拠点形成について、スペースワールド跡地に「ジ・アウトレット北九州」という日本最大級のアウトレットができ、アジア圏の中では大きなインパクトを持つショップとなり、中国をはじめとした外国からクルーズ船で来訪する方々も確実に増える。そのため、クルーズ船の受入体制や寄港地から目的地までの2次アクセスの確保を検討すると良い。</p>	<p>門司港レトロ地区等において、クルーズ船の受入環境の整備や寄港地から目的地までの2次アクセスの確保を行うことを具体施策に盛り込んだ。</p> <p>「ジ・アウトレット北九州」が立地する八幡地区においては、臨海部において周遊クルーズ船の発着場の整備や低・未利用地において民間活力を導入することを具体施策に盛り込んだ。</p> <p>1 - みなとの価値を活かした観光拠点の魅力の向上【P.42】</p> <p>1 - クルーズを安心して楽しめる受入環境の整備【P.44】</p>

### 『防災・危機管理』に対する意見

主な意見	対応
<p>新門司地区には耐震強化岸壁が1バースあるが、複数社が利用する想定であり、災害時の対応を円滑に行うのは無理がある。</p>	<p>フェリー各社が耐震強化岸壁を利用出来るよう、既設のフェリー岸壁の耐震化を具体施策に盛り込んだ。</p> <p>1 - 災害に強い基幹的海上交通ネットワークの拡充【P.47】</p>
<p>耐震強化岸壁だけではなく、背後へのアクセス道路の情報を確認の上、検討すると良い。</p>	<p>耐震強化岸壁と緊急輸送道路網を結ぶ臨港道路を整備することで、陸上輸送網と一体となった災害時の緊急物資輸送ネットワークの形成を具体施策に盛り込んだ。</p> <p>1 - 災害に強い基幹的海上交通ネットワークの拡充【P.47】</p>
<p>周防灘沿岸は過去にも高潮で被災し、高潮対策が重要である。温暖化で高潮が激甚化することと言われており、それにどうやって対応していくかということを経長期構想の中に入れると良い。</p>	<p>気候変動による海面水位の上昇等の影響を考慮した防災・減災対策について検討を行い、具体施策に盛り込んだ。</p> <p>1 - 激甚化する気象災害に備えた防災機能の向上【P.48】</p>
<p>福岡県が高潮浸水図を作成し、北九州市でもハザードマップを作成していると思うが、想定される高潮が来た場合、具体的にどうやって安全を確保するのか長期構想で検討すると良い。</p>	<p>ハード対策では防ぐことが難しい最大規模の災害に対しては、ハザードマップ等のソフト施策も含めた対策に取り組んでいくことを具体施策に盛り込んだ。</p> <p>観光客等の情報収集が困難な避難者に対しては、防災スピーカーや予定避難所表示板等を活用する具体施策を盛り込んだ。</p> <p>1 - 激甚化する気象災害に備えた防災機能の向上【P.48】</p>
<p>「防災・危機管理」で、ソフト面の充実を入れると良い。港湾の労働者や観光客が、どのように情報を得て、どういう経路で避難するのか、具体的に判り易く伝えるようにすると良い。</p>	<p>1 - 激甚化する気象災害に備えた防災機能の向上【P.48】</p>

### 『防災・危機管理』に対する意見

主な意見	対応
<p>岸壁の耐震化は長期構想で重要な課題である。北九州港は、南海トラフ地震等の広域での大規模災害の際に、復旧や復興をサポートするための物流機能が期待されている。</p>	<p>耐震強化岸壁の整備を進めることを具体施策に盛り込んだ。 太平洋側と日本海側どちらにも出られること等を活かし、広域大規模災害時に被災地へ緊急物資や建設機材等の輸送を支援することや被災地の物流機能の代替維持を行うことを具体施策に盛り込んだ。</p> <p>1 - 災害に強い基幹的海上交通ネットワークの拡充【P.47】 1 - 臨海部広域支援拠点の形成【P.50】</p>
<p>北九州港は、災害対応で自衛隊や海上保安部等の船が太平洋と日本海どちらの海にも出られ、利便性が高い。災害のための資材等をストックすることや、新門司地区には緊急時に活用できるフェリー岸壁もあり、重機などの輸送に利用できる。</p>	
<p>北九州港は非常に重要な防災拠点であり、2つの海に面していることに加えて、陸海空の結節点となっている。海上保安庁の航空基地もあり、広域展開しやすい。</p>	
<p>フェリーの可動橋について現行の耐荷重等はクリアできているが、温暖化の影響で恒常的に水位が高くなることで、可動橋が使用できなくなることが懸念される。</p>	<p>地球温暖化による海面上昇や将来の車両大型化等の社会状況の変化を踏まえ、港湾施設の戦略的なアセットマネジメントを推進することを具体施策に盛り込んだ。</p> <p>2 - 港湾施設の戦略的なアセットマネジメントの推進【P.51】</p>
<p>フェリーの可動橋は、供用後50年ほど経っている。現在は30トン程度のトラックで問題は無いが、将来大型化したり、重量物を運ぶようになると老朽化が懸念される。</p>	

# 2 長期構想の内容

## 2 - 1 長期構想の基本理念

## SDGsリーディングレポート 北九州

SDGsは持続可能でよりよい世界を目指す国際目標であり、国連サミットで全加盟国から採択された。北九州市は、2018年に、OECD（経済協力開発機構）よりアジア地域で初めて「SDGs推進に向けた世界のモデル都市」に、国より全国で初めて「SDGs未来都市」に選定され、SDGsの達成に向け、経済・社会・環境の側面から様々な取り組みを進めている。北九州港がそれらの取り組みのプラットフォームとなり、港からSDGsの達成を牽引していく。

SDGs（持続可能な開発目標）について

### Sustainable Development Goals



# 2 長期構想の内容

## 2 - 2 北九州港の目指す姿



SDGsの達成に向け、物流・産業、環境・エネルギー、人流・賑わい、防災・危機管理の4つの観点から社会経済情勢の展望を踏まえ、北九州市の目指す姿を整理し、「北九州港の目指す姿」を次のとおり設定した。なお、社会経済情勢の展望については、技術開発等の不確実性や、情勢の変化の不透明性等により、正確に描くことは簡単なことではないが、現時点での知見をもとに設定した。

## 【北九州港の目指す姿】

- ・ 物流・産業 : 世界とつながり産業を支えるみなと
- ・ 環境・エネルギー : カーボンニュートラルや循環型社会の実現を牽引するみなと
- ・ 人流・賑わい : 国内外の人々が訪れ、憩い、賑わうみなと
- ・ 防災・危機管理 : 安全・安心を感じられ、産業活動を継続できる強靱なみなと

また、「北九州港の目指す姿」の実現に向けて、カーボンニュートラルの実現やDXの進展等の近年の社会的要請や技術の進歩を踏まえ、具体施策を設定する。

【物流・産業】  
世界とつながり  
産業を支えるみなと

【環境・エネルギー】  
カーボンニュートラルや  
循環型社会の実現を牽引するみなと

SDGsリーディングポート  
北九州

【人流・賑わい】  
国内外の人々が  
訪れ、憩い、賑わうみなと

【防災・危機管理】  
安全・安心を感じられ、  
産業活動を継続できる強靱なみなと

	産業	物流
北九州市の現状	<p>本市には、素材産業（鉄鋼、化学等）、加工組立産業（金属製品、機械等）等が集積。バブル経済崩壊後、売却不振であった臨海部用地でも、産業立地が大きく進展。響灘地区では風力発電関連産業の誘致が進行中</p> <p>本市周辺（九州・西中国）には、自動車関連産業や半導体関連産業が集積</p> <p>これらの産業は、国際分業体制を構築し、国際的なサプライチェーンマネジメントを展開</p>	<p>本市は、アジアに近く、本州と九州の結節点に位置することから、道路、鉄道、港湾、空港等の交通輸送基盤が充実</p> <p>本市に立地する各産業は、生産工程全体のコスト削減を図るため、貨物性状、コスト、スピード等を勘案し、陸海空の輸送サービスを組み合わせて利用</p>
社会経済情勢の展望	<p>新型コロナウイルス感染拡大に伴い、我が国のサプライチェーンの脆弱性が顕在化したこと等を受け、今後も国内での生産拠点の整備は一定程度進展</p> <p>2050年カーボンニュートラルの実現に向け、各産業で脱炭素化が進展。また、脱炭素関連産業が活性化</p> <p>各産業でDXが進展。また、半導体関連産業が活性化</p>	<p>本市への産業の立地が促進（左列参照）</p> <p>eコマース市場が拡大</p> <p>物流分野においてもDXが進展し、良好な労働環境が確保されるとともに生産性が向上</p>
北九州市の目指す姿	<p><u>ものづくりのまち</u></p> <p>本市に立地する各産業が、カーボンニュートラルやDXへの対応等を進め、国際競争力を強化</p> <p>本市や本市周辺に立地する産業との連携等により、新たに先端成長産業（風力発電、水素・燃料アンモニア等、次世代自動車、半導体等）が集積</p>	<p><u>物流拠点</u></p> <p>各産業のニーズに応じ、本市と海外・国内各都市との間を結ぶ効率的な陸海空の輸送サービスを提供</p> <p>陸海空の結節点周辺エリアを中心に、物流産業が集積</p>
北九州港の目指す姿	<u>世界とつながり産業を支えるみなと</u>	
	<p>各産業のニーズに応じ、本市と海外・国内各都市との間を結ぶ効率的な海上輸送サービス（コンテナ、フェリー・RORO、PCC、バルク）を提供</p> <p>陸海空の充実した輸送サービスや脱炭素エネルギー等を活かし、素材産業や加工組立産業等に加え、先端成長産業や物流産業の拠点を形成</p>	

	カーボンニュートラル	循環型社会
北九州市の現状	<p>本市全域でのCO2排出量は1,577万t（2017年） 産業部門や運輸部門からの排出割合が高い</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・産業部門：64%（鉄鋼業・金属業等が約7割）</li> <li>・運輸部門：10%（自動車約8割）</li> <li>・業務部門、家庭部門：各7%</li> </ul> <p>本市は「2050年ゼロカーボンシティ」を宣言</p>	<p>廃棄物の減量化・資源化を推進 響灘地区の北九州エコタウンでは、自動車、家電、ペットボトル等のリサイクル産業が集積し、次世代循環資源（太陽光パネル、リチウム電池等）のリユース・リサイクルの事業化が進行中 市民生活や企業活動を支えるため、処分場を長期・安定的に確保</p>
社会経済情勢の展望	<p>2050年カーボンニュートラルの実現 電力部門は脱炭素電源（再エネ、水素、火力+CO2回収等）により脱炭素化 非電力部門は電化。熱需要など電化が困難な部門では、水素化やCO2回収で脱炭素化 運輸部門は、EV等の導入拡大により脱炭素化 CO2の排出が避けられない分野からの排出に対しては、直接回収や森林吸収源等によりCO2を除去 これらの取組みを行うことで、経済と環境の好循環が実現</p>	<p>廃棄物の発生量の増加が世界全体で深刻化 持続可能な形で資源を利用する循環経済へ移行 脱炭素化の進展に伴い発生量が増加する次世代循環資源のリユース・リサイクル関連産業の役割が増大</p>
北九州市の目指す姿	<p>環境と経済の好循環による2050年ゼロカーボンシティ エネルギー、産業、運輸、農林水産、まちづくり、くらし等のあらゆる分野で脱炭素化の取組みを行うことで、環境と経済の好循環を実現</p>	<p>3R・適正処理を通じた持続可能な都市 3Rや適正処理を推進</p>
北九州港の目指す姿	<p><b>カーボンニュートラルや循環型社会の実現を牽引するみなと</b></p>	
	<p>港湾の空間と多様な機能を最大限活用し、エネルギー、産業、運輸、吸収源対策の各分野で脱炭素化を牽引</p>	<p>西日本における次世代循環資源のリユース・リサイクル産業の拠点を形成 必要となる海面処分場を長期・安定的に確保</p>

	観光	海辺の賑わい
北九州市の現状	<p>本市は歴史、産業、自然、文化、夜景、構造物等の多様な観光資源や、祭り、花火大会等の催事を有する。近年の観光客は減少傾向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光客数：1,242万人(2017年) 1,033万人(2019年)</li> <li>・外国人観光客数：68.2万人(2017年) 55.6万人(2019年)</li> </ul> <p>本市に寄港するクルーズ船は、その大きさに応じ、ひびきCTと門司に寄港。近年の寄港回数は減少傾向</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・寄港回数：33回(2017年) 21回(2019年)</li> </ul> <p>2020年以降は、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、観光客数、クルーズ船寄港回数ともに大きく減少</p>	<p>本市の水際線は全国有数の長さ（226km、8割超が港湾区域）水際線の8割弱は整備されており、多くは物流や産業の場として、一部は観光地や釣公園として利用</p> <p>「新・海辺のマスタープラン」（H23～R2）に基づき、市民に親しまれる水際線づくりが進展</p> <p>1991年より新門司マリーナを開設</p>
社会経済情勢の展望	<p>長期的には新型コロナウイルス感染拡大は収束</p> <p>我が国の自然、気候、文化、食といった魅力は健在</p> <p>国は国内旅行とインバウンドの両輪で観光立国の実現を目指す方針（2030年のインバウンド目標6,000万人は堅持）</p> <p>MaaSやパーソナルモビリティ等の普及により、個人が気軽、安全、快適に観光を楽しめる環境が充実</p> <p>クルーズについては、中国に続き東南アジア地域も大きなポテンシャルを有していると考えられており、我が国に寄港するクルーズ船は今後増加</p>	<p>余暇の増加により、マリンレジャー等による海辺の利活用への関心が高まる</p>
北九州市の目指す姿	<p><u>国際観光都市</u></p> <p>本市周辺地域と連携し、充実した交通基盤と多様な観光資源を活かし、国内観光客やアジアを中心とした外国人観光客が、長時間滞在し、再び訪れたい観光都市圏を形成</p>	<p><u>魅力と賑わいのある海辺</u></p> <p>産業機能との調和を図り、訪れた人々が各々の目的により楽しむことができる海辺を形成</p>
北九州港の目指す姿	<u>国内外の人々が訪れ、憩い、賑わうみなと</u>	
	<p>DXを活用し国内外の人々が訪れる観光拠点を形成</p> <p>国内外の多様なクルーズ船が寄港する拠点を形成</p>	<p>海辺のフットパスと、釣りやヨット等を楽しめる拠点を形成</p>

	防災・減災	インフラ管理
北九州市の現状	<p>災害リスクの少ない都市 風水害については、昭和28年の北九州大水害や、平成11年の台風18号による高潮で大きな被害が発生 地震については、1898年糸島半島の地震で震度「強」（震度5程度）を記録し、家屋損壊等の被害が発生</p>	<p>多種多様な社会インフラ施設を保有 建設から50年以上経過している施設が増加 中長期的な計画に基づき、予防保全を中心とした維持管理・修繕・更新を導入</p>
社会経済情勢の展望	<p>世界の平均気温は上昇し、気候変動に伴う自然災害が頻発化・激甚化 2100年の世界平均海面水位は2 上昇シナリオで最大0.59m、4 上昇シナリオで最大1.1m上昇すると予測 南海トラフ地震や首都直下地震等の発生が切迫</p>	<p>高度成長期以降に集中的に整備されたインフラが一斉に高齢化 それに伴う維持管理・更新費増大の懸念 インフラの安全性・信頼性や作業の効率性の向上を図るため、センサーやロボット等の新技術が進展</p>
北九州市の目指す姿	<p><u>災害に強い都市</u> 防災施設の整備や施設の耐震化などのハード対策により被害の軽減を図るとともに市民や企業への安心感を付与 想定を超える災害には、ハード対策とソフト対策を重層的に組み合わせた減災対策で対応 大規模災害時に被災都市への支援を実施</p>	<p><u>安全で強靱なインフラの維持・確保</u> 新技術の導入や民との連携も視野に入れた維持管理の実施 予防保全型の維持管理へ本格転換を図り、総費用の縮減と予算の平準化を実現</p>
北九州港の目指す姿	<u>安全・安心を感じられ、産業活動を継続できる強靱なみなと</u>	
	<p>災害時にサプライチェーンへの影響を最小限に抑制し、緊急物資の輸送も可能とする港湾機能を確保 高潮等から市民の生命・財産や社会経済活動を防護 広域災害発生時に、被災地への緊急物資の輸送を支援するとともに、被災地の港湾機能を補完</p>	<p>デジタル情報を活用した効率的なアセットマネジメントを推進するための枠組みを形成</p>

# 2 長期構想の内容

## 2 - 3 取組方針と具体施策

## 【物流・産業】

### 世界とつながり産業を支えるみなと



取組方針	具体施策
1 コンテナ輸送機能の強化	1 - アジア航路・国際フィーダー航路の拡充
	1 - 次世代高規格コンテナターミナルの形成
	1 - ロジスティクスハブの拡充
2 複合一貫輸送機能の強化	2 - 次世代高規格フェリー・ROROターミナルの形成
	2 - 国際自動車輸送拠点の形成
	2 - シー & エア、シー & レールの促進
3 在来貨物輸送機能の強化	3 - 国際バルク貨物ターミナルの拡充
4 臨海部交通ネットワークの強化	4 - アクセス道路の充実
5 物流産業や先端成長産業等の集積	5 - 産業用地の確保と企業の立地促進

## 【環境・エネルギー】

### カーボンニュートラルや循環型社会の実現を牽引するみなと



取組方針	具体施策
1 港湾を活用したカーボンニュートラルの実現	1 - 洋上ウインドファームの集積と風力発電関連産業の総合拠点の形成
	1 - 水素・燃料アンモニア等リキッドバルク拠点の形成
	1 - カーボンフリーターミナルの形成
	1 - モーダルシフトを促進するフェリー・RORO拠点機能の強化
	1 - ブルーカーボン生態系の保全・再生・創造
2 港湾を活用した循環型社会の実現	2 - 新たな循環資源に対応したリサイクルポートの活用促進
	2 - 海面処分場の計画的な配置・整備

## 【人流・賑わい】

国内外の人々が訪れ、憩い、賑わうみなと



取組方針	具体施策
1 観光振興の推進	1 - 1 みなとの価値を活かした観光拠点の魅力の向上
	1 - 2 観光拠点ネットワークの形成
	1 - 3 クルーズを安心して楽しめる受入環境の整備
2 海辺の賑わいの創出	2 - 1 市民に親しまれる水辺空間の魅力の向上
	2 - 2 マリンレジャー拠点の充実

## 【防災・危機管理】

安全・安心を感じられ、産業活動を継続できる強靱なみなと



取組方針	具体施策
1 港湾の防災・減災機能の強化	1 - 1 災害に強い基幹的海上交通ネットワークの拡充
	1 - 2 激甚化する気象災害に備えた防災機能の向上
	1 - 3 不許可係留船の計画的な収容
	1 - 4 臨海部広域支援拠点の形成
2 適正な港湾管理の推進	2 - 1 港湾施設の戦略的なアセットマネジメントの推進



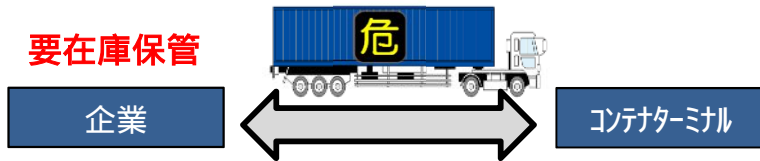
## 具体施策 1 - アジア航路・国際フィーダー航路の拡充

企業のサプライチェーンマネジメント等に資する多方面・多頻度のコンテナ物流サービスを提供するため、「アジア航路・国際フィーダー航路の拡充」を図る。

- ▶本市をはじめ筑豊・東九州・本州方面の既存産業や新たに立地する先端成長産業等の荷主を対象に、新たな集貨支援制度の創設や物流改善の提案等を行うことにより、集貨を促進する。
- ▶太平洋側地域の荷主を対象に、リスク分散の観点から日本海側港湾を活用した代替海上輸送ルートへの提案を行うこと等により、日本海側港湾との間を結ぶ内航フィーダー航路やRORO航路の就航を実現し、広域集貨を促進する。

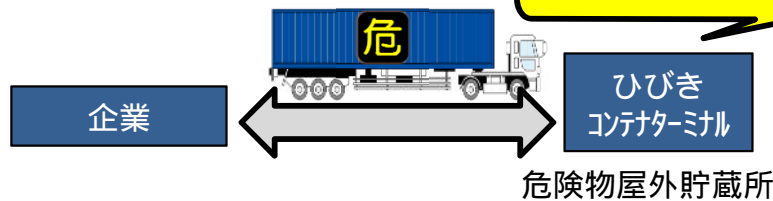
### 物流改善の提案の例（ひびきCT）

要在庫保管



一般的なCTでは、CT内で危険物コンテナの蔵置ができないため、自社で在庫保管が必要

危険物コンテナの取扱環境の整備

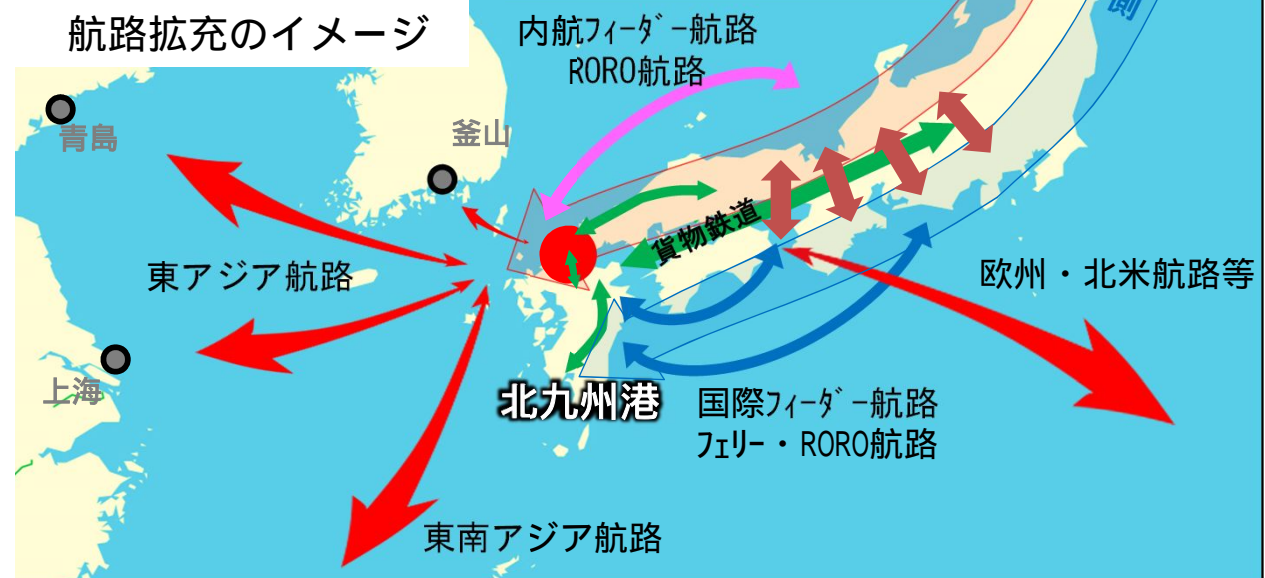


危険物コンテナを長期間蔵置可能なひびきCTで蔵置を行うことで、保管コストを削減

### 本市への誘致を目指す先端成長産業の例



### 航路拡充のイメージ



# コンテナ輸送機能の強化

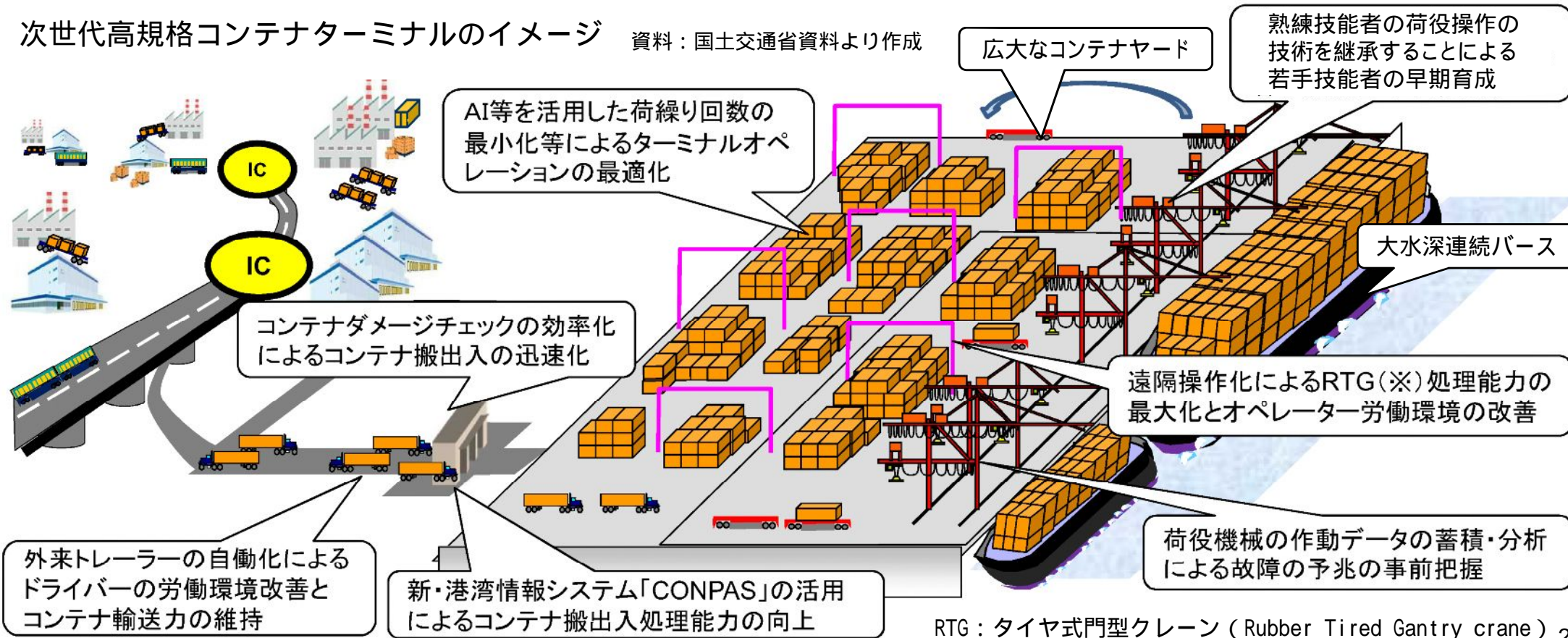
## 具体施策 1 - 次世代高規格コンテナターミナルの形成

コンテナ船の大型化への対応、コンテナ物流の生産性の向上、港湾労働の将来の担い手の確保を促進する良好な労働環境の確保等を図るため、日本海側に位置し、背後に広大な産業用地を持つひびきCTと、太平洋側に位置し、歴史と実績があり豊富な航路網を持つ太刀浦CTという特性の違う二つのターミナルにおいて、「次世代高規格コンテナターミナルの形成」を図る。

- コンテナ貨物に関する民間事業者の手続きを電子化するCyber Portや、ICTを活用したコンテナ搬出入手続きを可能とするCONPAS等の導入・連携を促進する。
- コンテナの蔵置場所を最適化するAIシステムや遠隔操作RTG等の導入を促進する。
- 今後のひびきCTと太刀浦CTの利用状況等を踏まえ、太刀浦CTの再編を図る。

### 次世代高規格コンテナターミナルのイメージ

資料：国土交通省資料より作成

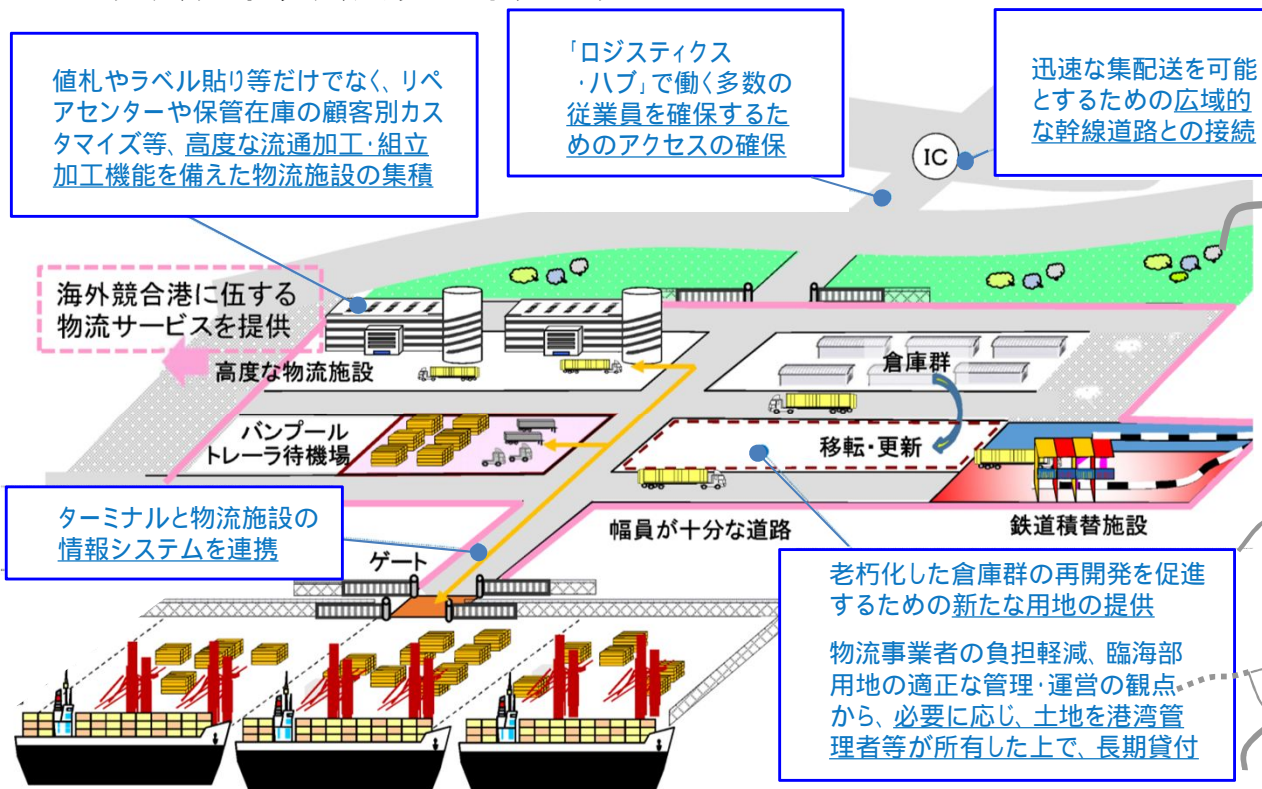


## 具体施策 1 - ロジスティクスハブの拡充

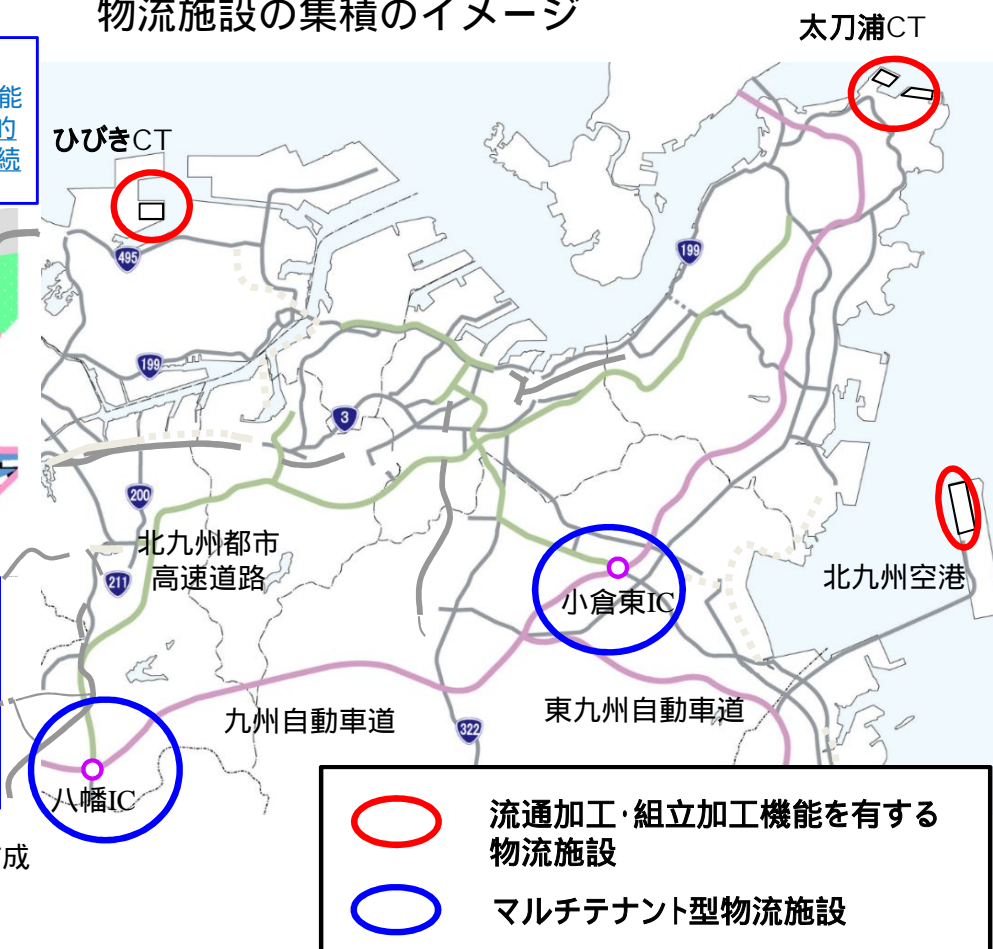
サプライチェーンの効率化など多様化・高度化する物流ニーズに対応するため、港湾背後地等において「ロジスティクスハブの拡充」を図る。

➤ 用地の確保や財政支援制度の活用等を行うことにより、老朽化した倉庫群の再編や、コンテナターミナル背後等への流通加工・組立加工機能を有する物流施設及び高速道路IC周辺へのマルチテナント型物流施設等の誘致を促進する。

### ロジスティクスハブのイメージ



### 物流施設の集積のイメージ



## 具体施策 2 - 次世代高規格フェリー・ROROターミナルの形成

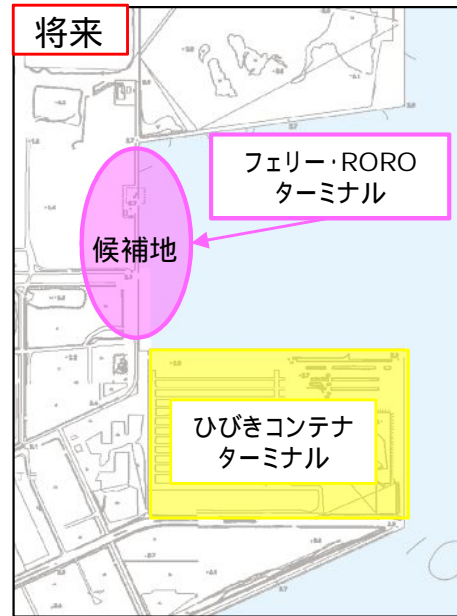
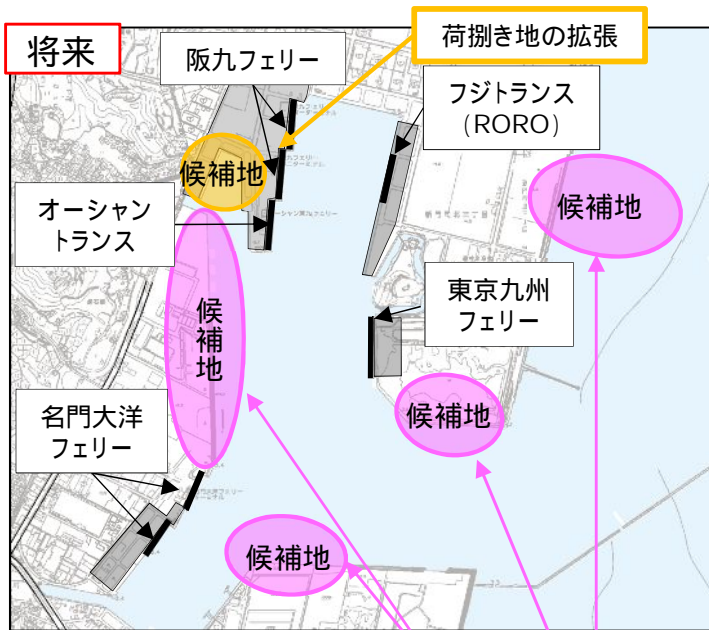
フェリー・RORO船によるシームレス輸送の効率性向上や、トラックドライバーの不足や労働時間規制による輸送ニーズに対応するため、「次世代高規格フェリー・ROROターミナルの形成」を図る。

- 自動運航船舶と連携した自動離着岸装置や、ターミナル内横持ち自動運転等の導入を促進する。
- 日韓及び日中のシャーシ相互通行の実現を促進する。
- 新門司地区において、フェリー荷捌き地を拡張するとともに、関東・関西方面や東アジア方面との間を結ぶフェリー・RORO航路の就航状況等を踏まえ、ターミナルを整備する。
- 響灘西地区において、沖縄・日本海側方面との間を結ぶRORO航路の就航状況等を踏まえ、ターミナルを整備する。

新門司地区イメージ

響灘西地区イメージ

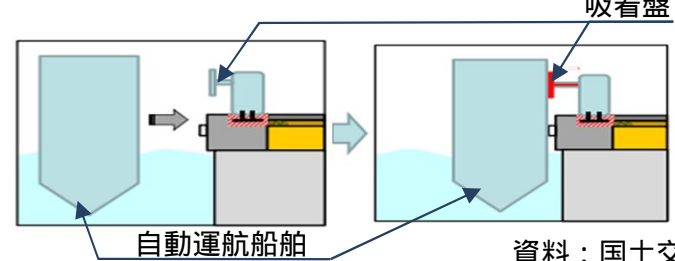
次世代高規格フェリー・ROROターミナルのイメージ



資料：国土交通省資料より作成

### 自動離着岸装置による係船イメージ

自動運航船舶を吸着盤の吸着力により係船



参考写真：CAVOTEC社  
「Moor Master」

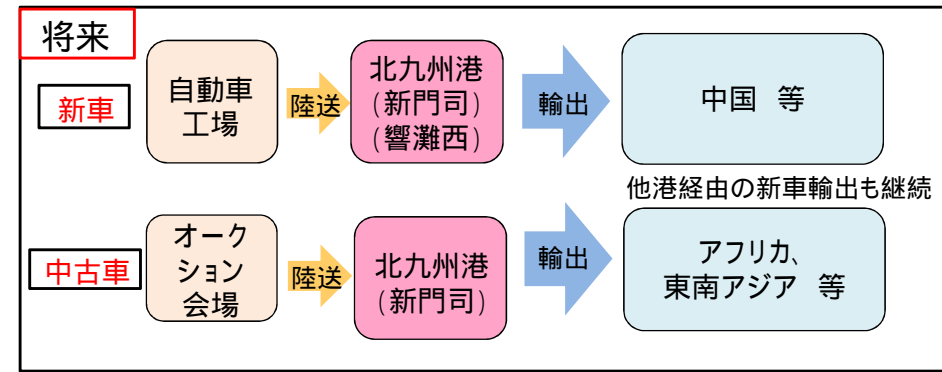
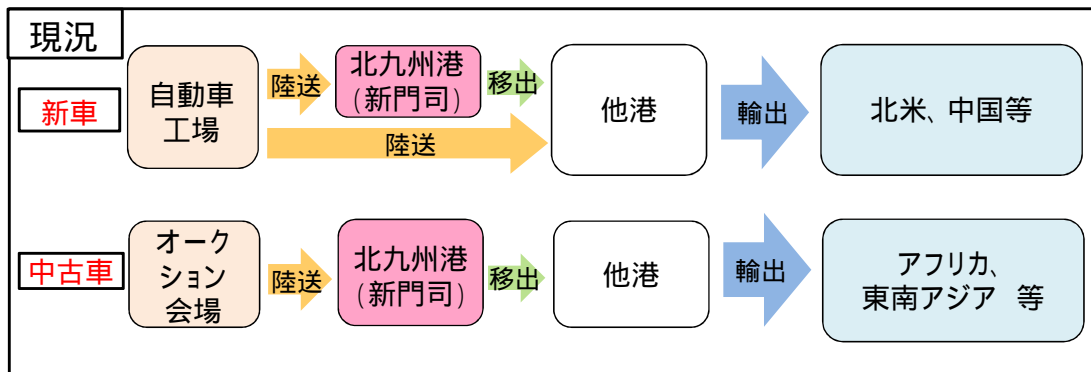
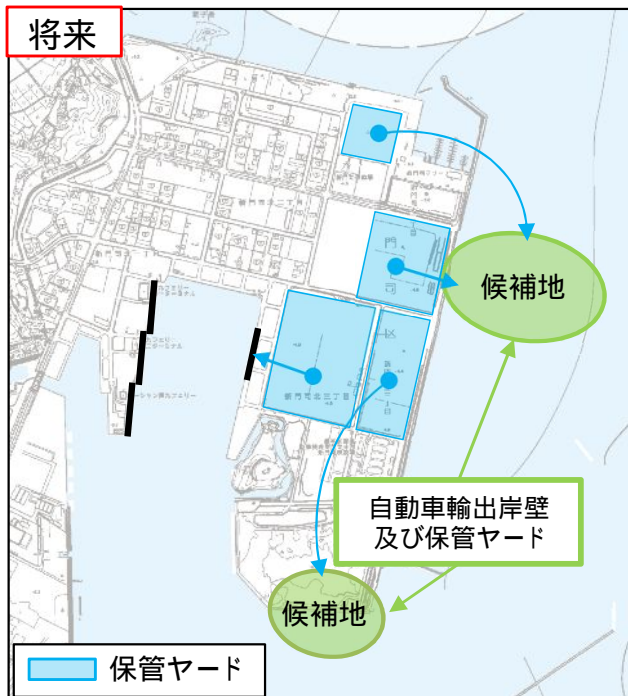
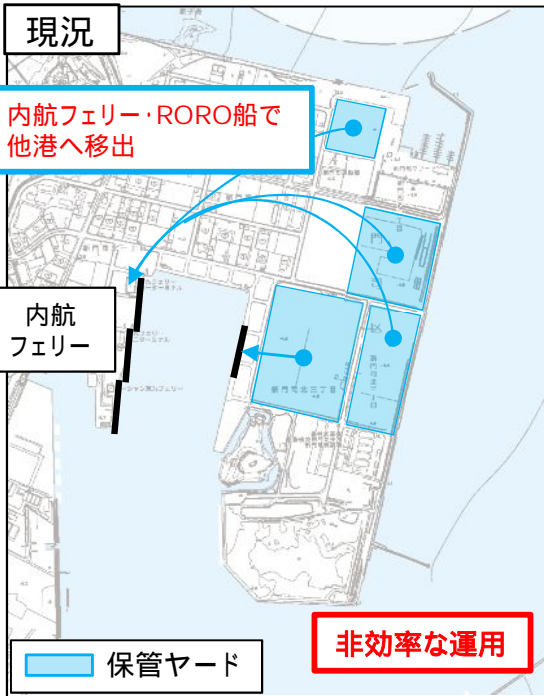
資料：国土交通省資料より作成

## 具体施策 2 - 国際自動車輸送拠点の形成

北部九州に集積する自動車産業の輸出の効率性向上のため、「国際自動車輸送拠点の形成」を図る。  
 ▶新門司地区及び響灘西地区において、自動車の輸出機能を強化する。

### 新門司地区イメージ

### 響灘地区イメージ



## 具体施策2 - シー&エアー、シー&レールの促進

貨物輸送サービスへの多様なニーズに対応するため、「シー&エアー、シー&レールの促進」を図る。

- 一般道の通行が困難な大型特殊貨物等の輸送に対応するため、海上空港である北九州空港の特長を活かしたシー&エアーを促進する。
- 食品等の定時性が求められる貨物や危険物貨物等の安全性が求められる貨物の輸送に対応するため、北九州貨物ターミナル駅を活用したシー&レールを促進する。

### シー&エアーのイメージ



### シー&エアーでターゲットとする貨物

- 【実績あり】
- ・人工衛星
  - ・大型無人航空機

- 【今後想定される貨物の例】
- ・火力発電用タービン
  - ・航空機胴体パネル
  - ・船舶エンジン
  - ・ロケット本体
  - ・工場用プラント 等

### 【シー&エアーの事例（人工衛星の輸入）】



### シー&レールのイメージ



### シー&レールでターゲットとする貨物

#### 国際RORO貨物

- 【今後想定される貨物の例】
- ・食品（青果品）等

#### コンテナ貨物

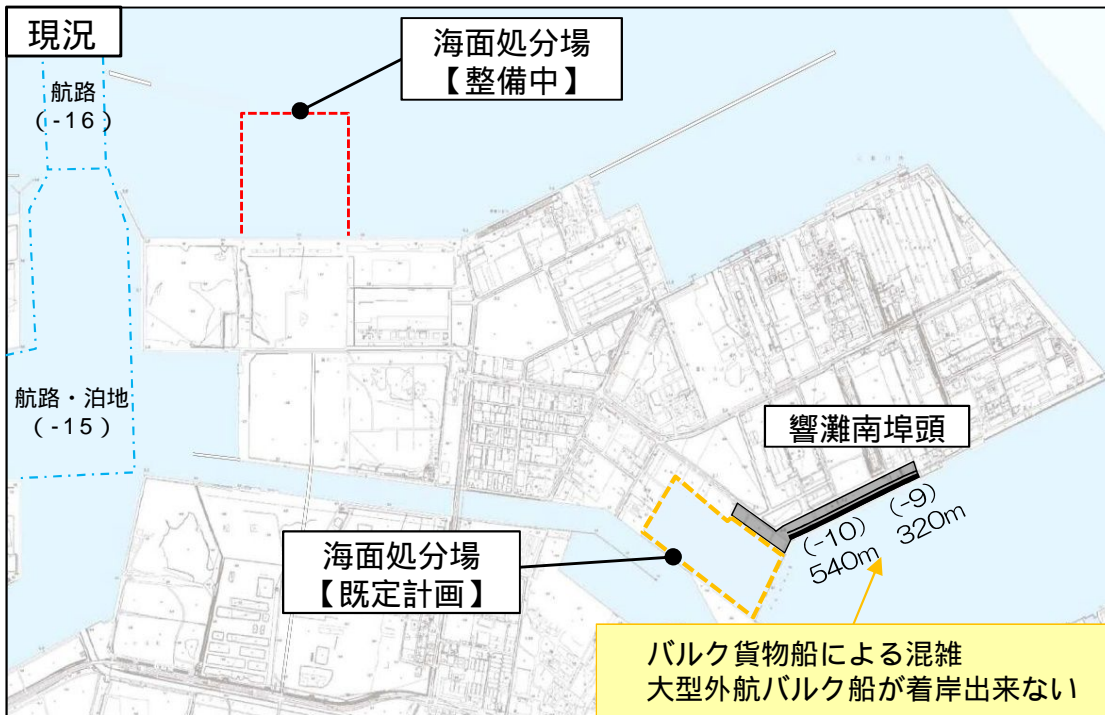
- 【今後想定される貨物の例】
- ・危険物貨物（化学薬品）等

## 具体施策 3 - 国際バルク貨物ターミナルの拡充

外航バルク船の大型化や既存ターミナルにおける滞船に対応するため、「国際バルク貨物ターミナルの拡充」を図る。

➤ 響灘東地区において、中米・豪州等から非金属鉱物や北米からバイオマス発電の原料等を輸送する船舶の大型化や、東南アジアからのバイオマス発電の原料等を輸入する船舶の増加に対応した岸壁を整備する。

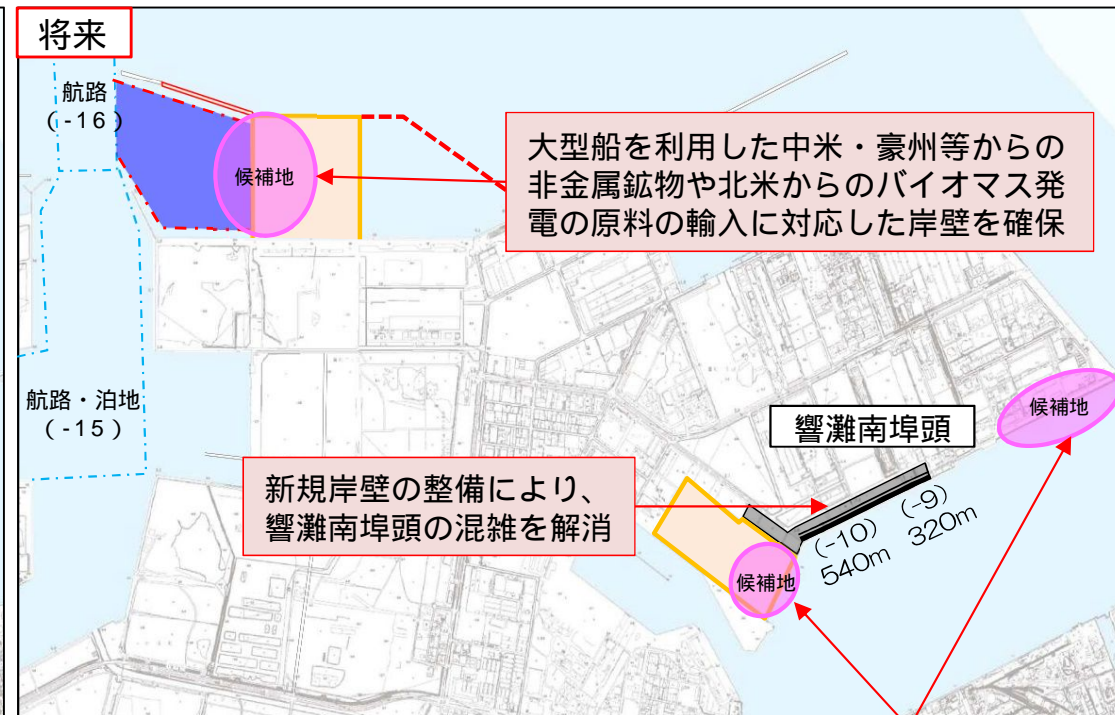
### バルク岸壁の整備イメージ



バルク貨物船による混雑  
大型外航バルク船が着岸出来ない

#### 【主な取扱貨物】

- ・ 非金属鉱物（石膏）
- ・ 木材チップ（バイオマス燃料）
- ・ 石炭
- ・ ケーブル船
- ・ コークス
- ・ 金属くず



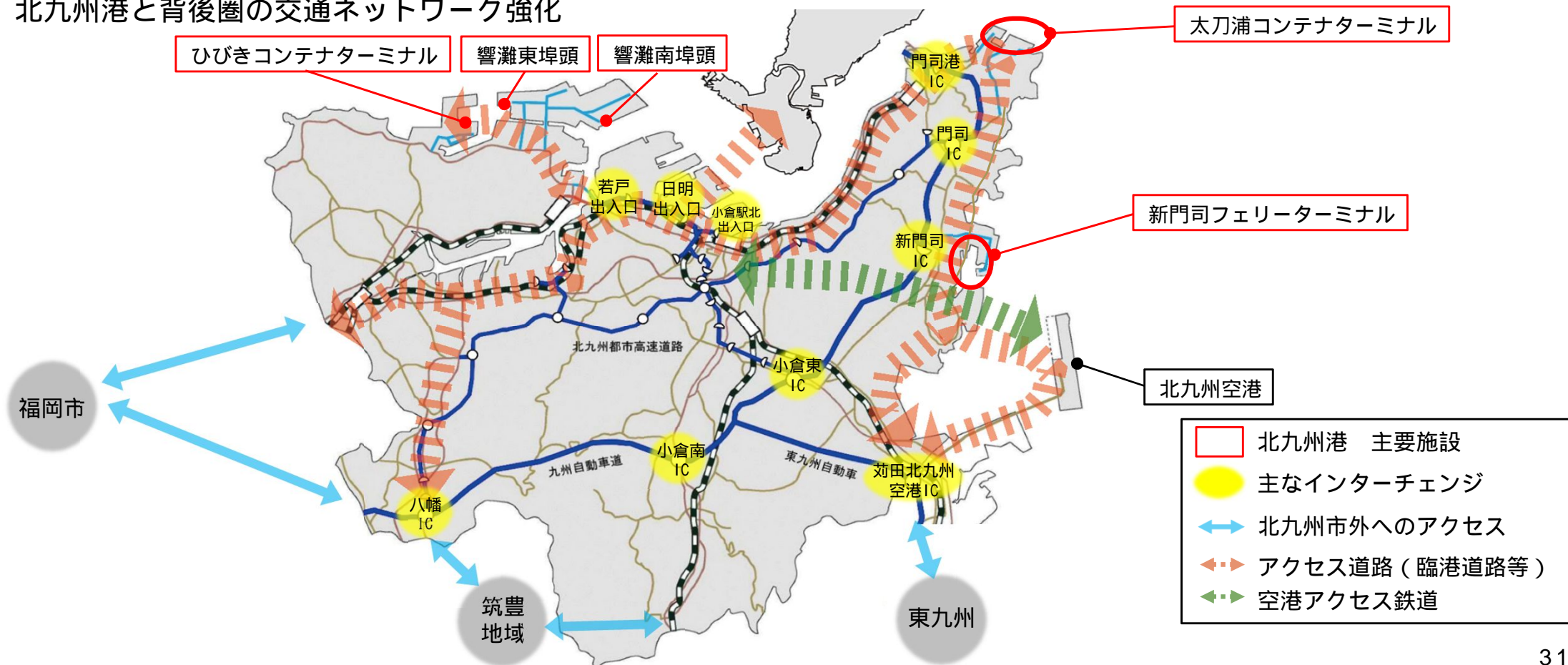
東南アジアからのバイオマス発電の原料等の輸入の増加に対応した岸壁を確保

## 具体施策 4 - アクセス道路の充実

臨海部における円滑な物流や企業の立地、筑豊・東九州・本州方面への背後圏の拡大等に対応するため、臨港道路等の「アクセス道路の充実」を図る。

- 主要ターミナルと高速道路IC等の間や埠頭の間を結ぶ道路機能を強化する。
- 下関北九州道路など、地域間の連携強化を支援する道路交通ネットワークを強化する。
- 北九州空港における航空旅客に対応したアクセス鉄道の検討にあわせ、空港島内における航空輸送された部品の組立・加工施設や物流施設等の集積の促進と、空港島への道路交通のリダンダンシーの確保の観点から、新たな道路機能の強化を検討する。

北九州港と背後圏の交通ネットワーク強化



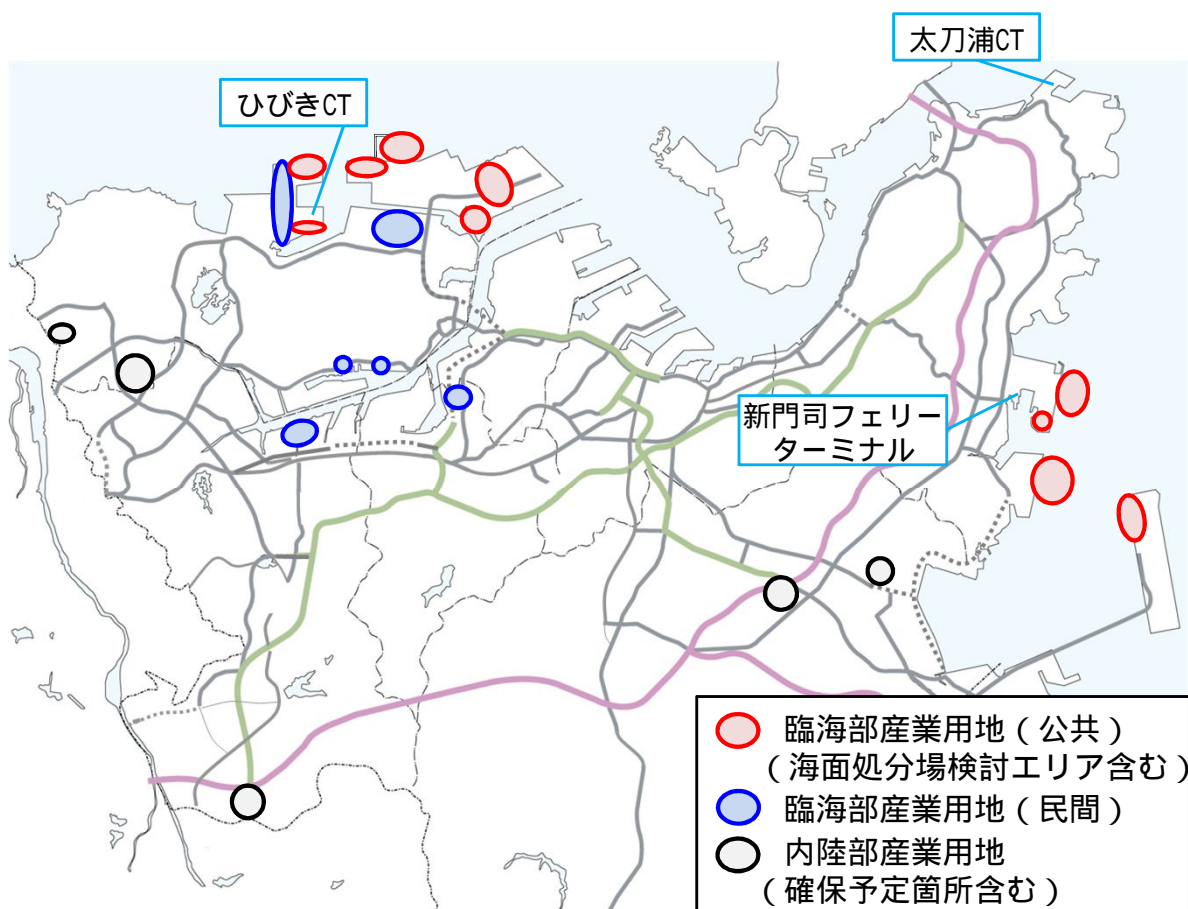


## 具体施策 5 - 産業用地の確保と企業の立地促進

雇用の拡大等による地域経済の活性化を図るため、「産業用地の確保と企業の立地促進」を図る。

- ▶海面処分用地や遊休地等を活用した産業用地を確保する。
- ▶産業用地において、充実した物流基盤やその機能強化を背景に企業誘致を行うとともに、支援制度の活用や行政手続き等の支援を行うことにより、物流産業のほか、風力発電関連産業や次世代自動車関連産業等の先端成長産業等の集積を促進する。

### 新たな産業用地の確保



### 立地促進を図る企業の例

#### 物流産業

- ・流通加工・組立加工機能を有する物流施設や、高速道路IC周辺へのマルチテナント型物流施設等

#### 先端成長産業（主なもの）

##### 風力発電関連産業

- ・風車部材の製造や洋上風力発電設備の設置・運転・維持管理等を行う企業

##### 水素・燃料アンモニア等脱炭素エネルギー関連産業

- ・水素や燃料アンモニア等の脱炭素エネルギーを製造・貯蔵・輸送・利活用を行う企業

##### 次世代自動車関連産業

- ・電気自動車や燃料電池自動車等の部品や完成自動車を製造する企業

##### 半導体関連産業

- ・半導体製品のほか、原材料や製造装置等をつくる企業

## 具体施策1 - 洋上ウインドファームの集積と風力発電関連産業の総合拠点の形成

### 【洋上ウインドファームの集積】

再生可能エネルギーの主力電源化に向けた切り札である洋上風力発電の導入を促進するため、北九州港周辺において「洋上ウインドファームの集積」を図る。

- 響灘の港湾区域内で計画されている洋上ウインドファーム事業を促進する。
- 響灘の一般海域で想定されている洋上ウインドファーム事業を促進する。

### 洋上ウインドファームの集積



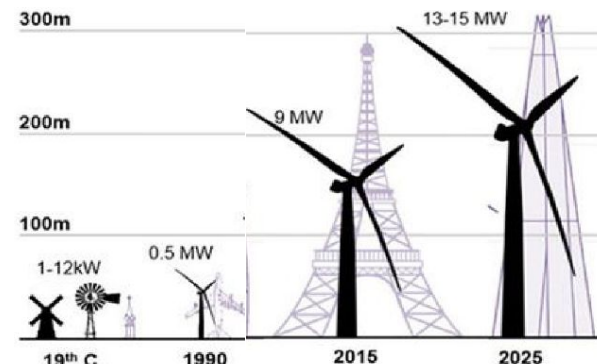
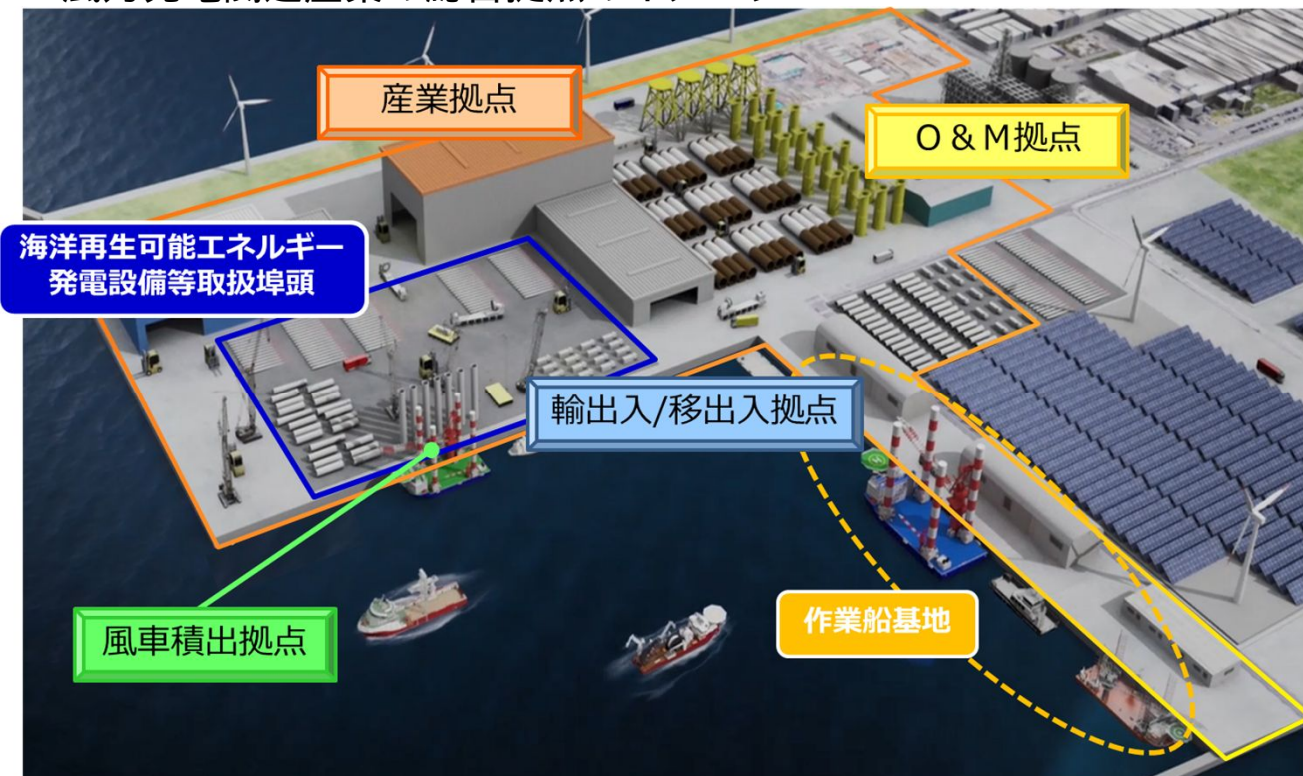
## 具体施策 1 - 洋上ウインドファームの集積と風力発電関連産業の総合拠点の形成

### 【風力発電関連産業の総合拠点の形成】

洋上風力発電の導入促進や、雇用の創出等につながる産業の活性化を図るため、風車の更なる大型化や浮体式の展開等にも対応可能な4つの拠点機能（風車積出拠点、風車部材の輸出入/移出入拠点、O&M拠点、産業拠点）からなる「風力発電関連産業の総合拠点の形成」を図る。

- 響灘地区において、洋上風力発電設備の設置及び維持管理において必要となる、重厚長大な資機材を扱うことが可能な耐荷重・広さを備えた埠頭を整備する。
- 上記埠頭の背後にある広大な用地等を活用して、風車部材の製造や洋上風力発電設備の設置・運転・維持管理等を行う企業の集積を促進する。
- 上記企業が行う風力発電関連貨物の輸出入・移出入を行う岸壁や、作業船の基地となる岸壁を整備する。

### 風力発電関連産業の総合拠点のイメージ



風車大型化の傾向 (Bloomberg公表資料を基に本市が加工)



浮体式基礎の例(左:バージ型・右:セミサブ型)

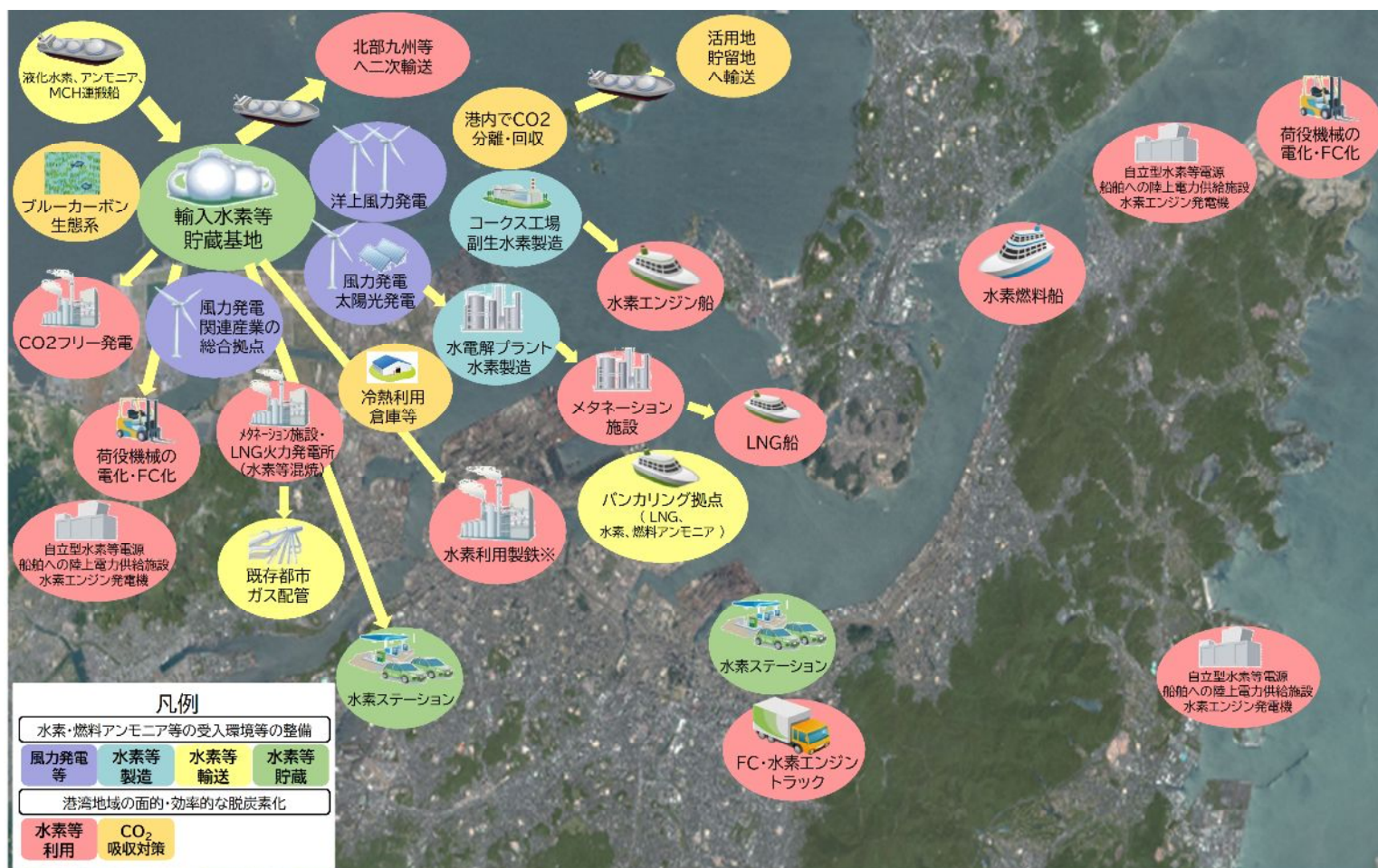
## 具体施策 1 - 水素・燃料アンモニア等リキッドバルク拠点の形成

### 【水素、燃料アンモニア等の製造・輸入・貯蔵・供給の拠点の形成】

北部九州をはじめとした広域での脱炭素化を実現するため、水素等の輸入・製造や、内航船・パイプライン等で需要地への二次輸送等を行う「水素・燃料アンモニア等リキッドバルク拠点の形成」を図る。

- ▶ 響灘地区等で水素等の大量・安定・安価な輸入や貯蔵、供給を可能とする環境を整備する。
- ▶ 洋上風力発電等再生可能エネルギーの余剰電力等を利用した水素等の製造を促進する。
- ▶ 分離・回収したCO2の大量・安定・安価な活用地や貯留地までの輸送を可能とする環境を整備する。

### 水素・燃料アンモニア等リキッドバルク拠点のイメージ

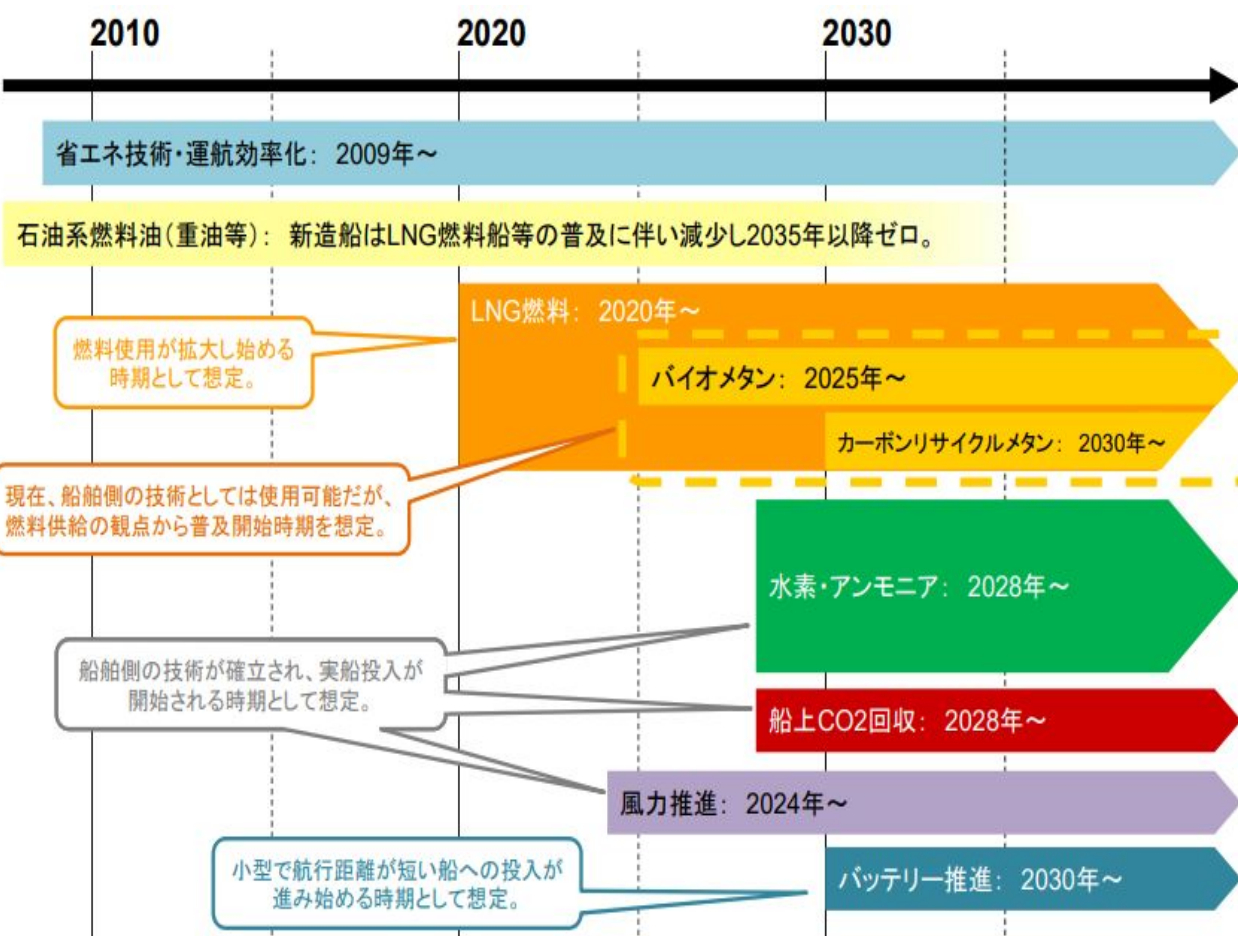


## 具体施策1 - 水素・燃料アンモニア等リキッドバルク拠点の形成

### 【カーボンフリーな代替燃料のバンカリング拠点の形成】

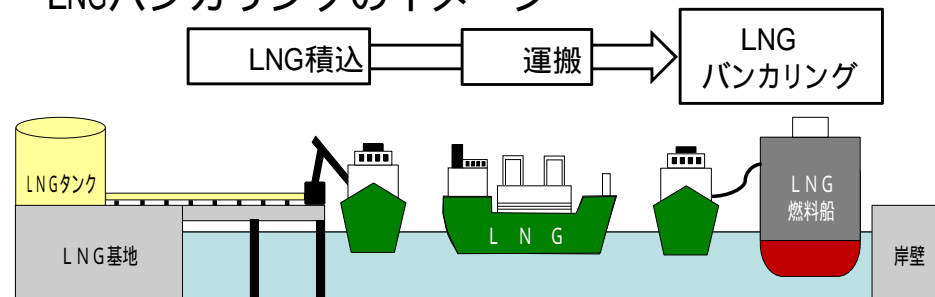
海上輸送におけるカーボンフリーな代替燃料への転換に対応することにより、脱炭素化とこれらの燃料船の寄港増加による港湾の競争力強化を実現するため、九州・瀬戸内における「カーボンフリーな代替燃料のバンカリング拠点の形成」を図る。  
➤船舶へのLNG燃料や今後利用が見込まれる水素、アンモニア等の供給に必要な受入環境を整備する。

### 船舶燃料の変化（想定）



出典：国土交通省 国際海運のゼロエミッションに向けたロードマップ

### LNGバンカリングのイメージ



LNGバンカリング船への積込状況



LNG燃料船へのバンカリング状況

出典：国土交通省HP

## 具体施策 1 - カーボンフリーターミナルの形成

- 公共ターミナルにおける脱炭素化を実現するため、「カーボンフリーターミナルの形成」を図る。
- ▶公共ターミナル内で使用する電力を再生可能エネルギー100%電力や自立型水素等電源に転換する。
  - ▶公共ターミナル内の荷役機械の電化・FC化や、停泊中の船舶への陸上給電設備の導入等を行う。
  - ▶公共ターミナルに出入りするトラック等のFC化を促進する。

### 荷役機械の脱炭素化

コンテナトレーラーストラドルキャリア 荷役機械RTG  
(FCV) (FC) (FC)

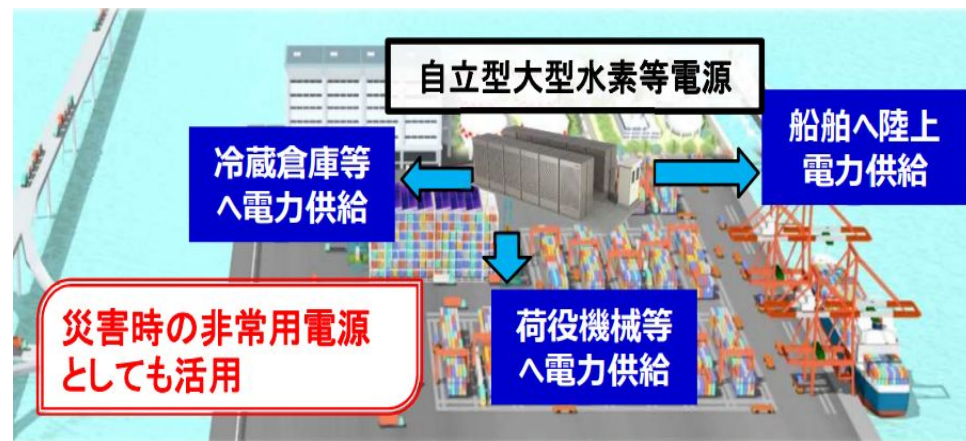


出典：トヨタ自動車(株)HP

※FCV：燃料電池自動車(Fuel Cell Vehicle) ※FC：燃料電池(Fuel Cell)

出典：国土交通省HP

### ターミナルにおける自立型水素等電源の活用



出典：パナソニック「自立型水素等電源イメージ写真」

### 停泊船舶への陸上電力供給



出典：国土交通省HP

### ターミナルを出入りするトラック等の脱炭素化



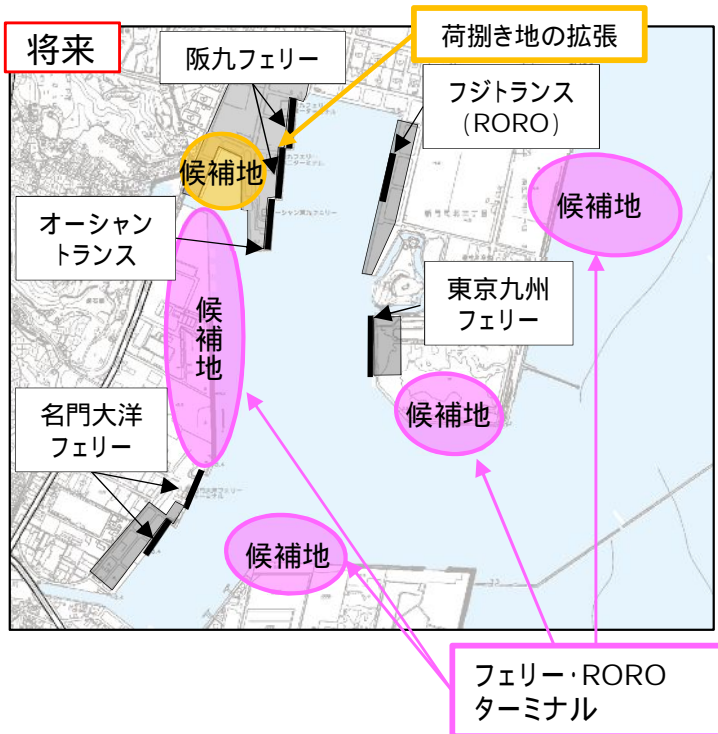
出典：国土交通省HP

## 具体施策1 - モーダルシフトを促進するフェリー・RORO拠点機能の強化

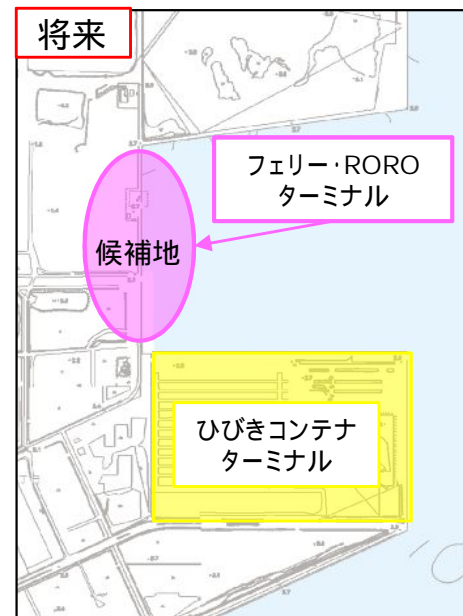
物流部門におけるCO2排出量を削減するため、「モーダルシフトを促進するフェリー・RORO拠点機能の強化」を図る。

- 自動運航船舶と連携した自動離着岸装置や、ターミナル内横持ち自動運転等の導入を促進する。
- 新門司地区において、フェリー荷捌き地を拡張するとともに、関東・関西方面や東アジア方面との間を結ぶフェリー・RORO航路の就航状況等を踏まえ、ターミナルを整備する。
- 響灘西地区において、沖縄・日本海側方面との間を結ぶRORO航路の就航状況等を踏まえ、ターミナルを整備する。

新門司地区イメージ



響灘西地区イメージ

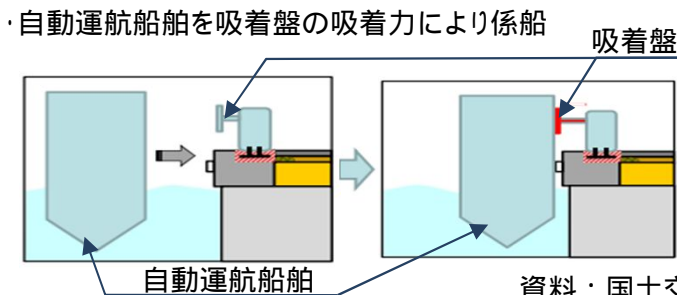


次世代高規格フェリー・ROROターミナルのイメージ



資料：国土交通省資料より作成

自動離着岸装置による係船イメージ



参考写真：CAVOTEC社  
「Moor Master」

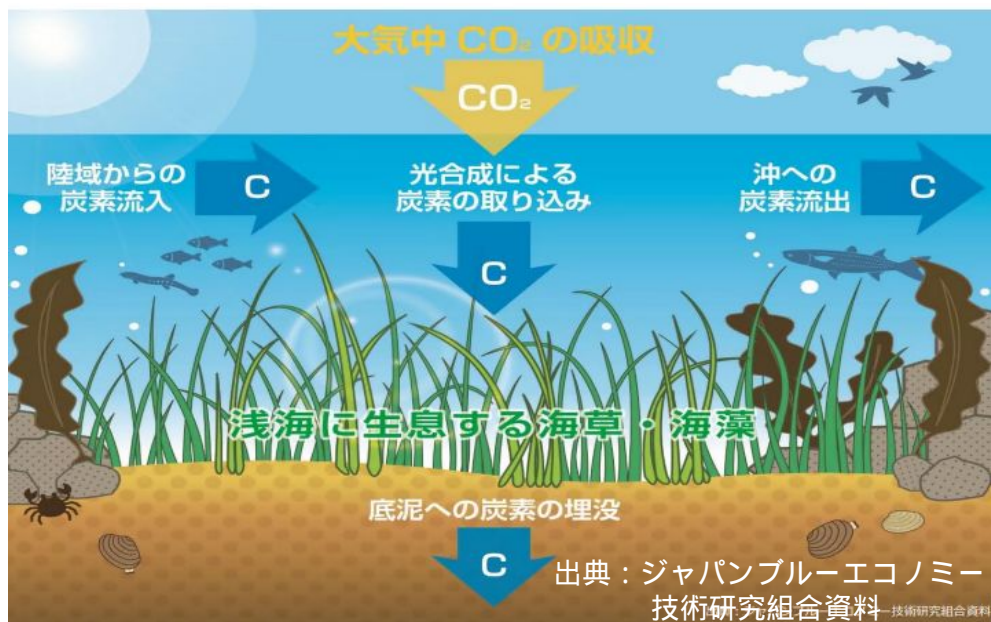
資料：国土交通省資料より作成

## 具体施策1 - ブルーカーボン生態系の保全・再生・創造

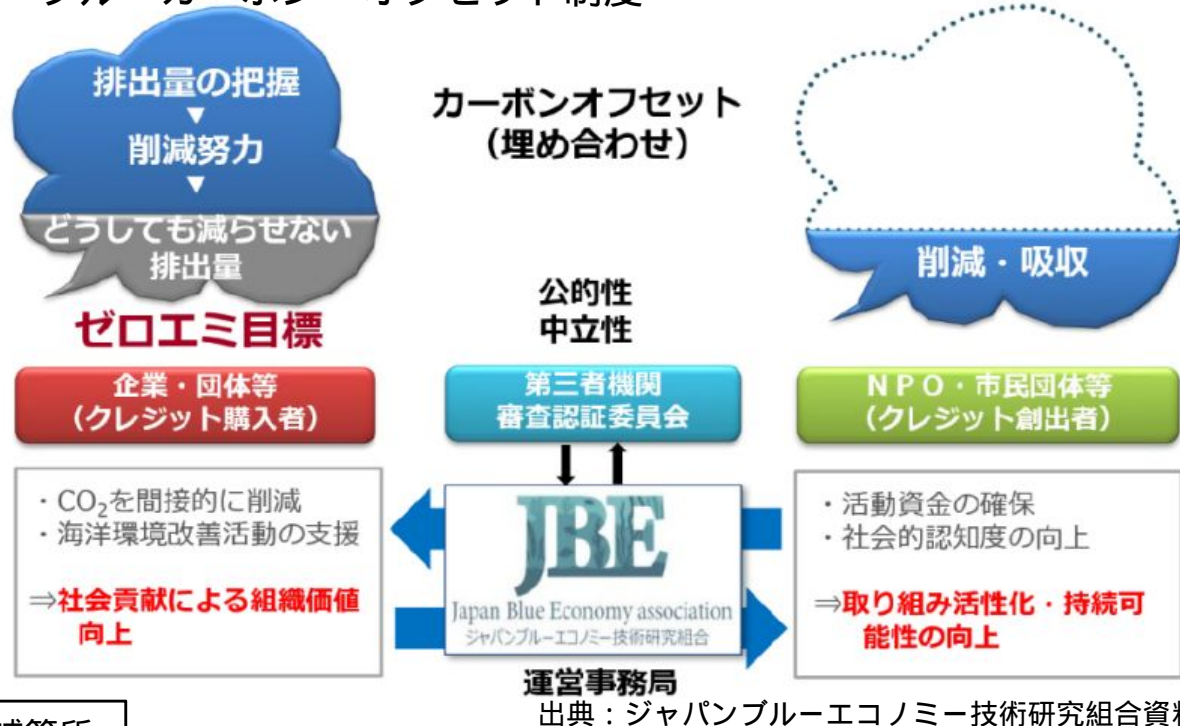
大気中のCO2を削減するため、長い海岸線を有する本市の特性を活かし、CO2吸収源として大きなポテンシャルが期待されている「ブルーカーボン生態系の保全・再生・創造」を図る。

- 港湾工事において藻場が形成しやすいコンクリートブロック等を活用し、藻場を造成する。
- ブルーカーボン・オフセット制度等を活用し、企業やNPO等におけるCO2吸収拡大の取組を促進する。

### ブルーカーボンのメカニズム



### ブルーカーボン・オフセット制度



### ブルーカーボン生態系造成の候補地



藻場造成候補箇所 (響灘地区)

藻場造成候補箇所 (北九州空港護岸)

### Jパワー若松総合事業所護岸

2018年から銅スラグモルタルの消波ブロックによる藻場造成実証実験を開始





## 具体施策 2 - 新たな循環資源に対応したリサイクルポートの活用促進

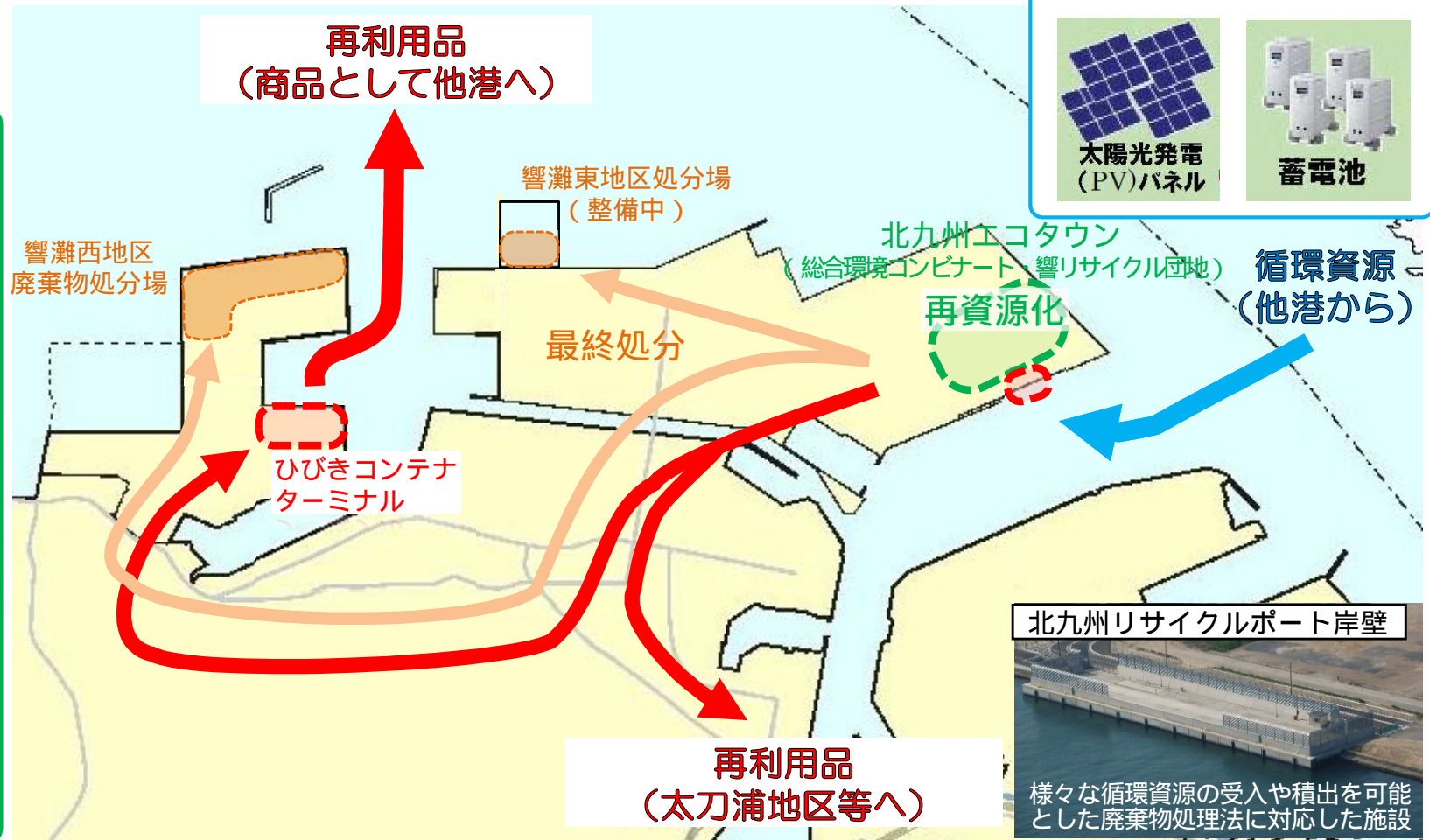
今後大量に発生することが想定される次世代循環資源（太陽光パネル、リチウム電池等）のリユース・リサイクルの取り組みを支援するため、「新たな循環資源に対応したリサイクルポートの活用促進」を図る。

➤国内のリサイクルポート間で連携し、響灘東地区の北九州エコタウン（総合環境コンビナート・響リサイクル団地）を中心に、次世代循環資源の西日本の拠点として広域利用を促進する。

北九州エコタウンにおける  
リサイクル関連企業の  
立地状況

- 【従来型循環資源関連企業】
- 自動車リサイクル
  - ・西日本オートリサイクル(株)
- ペットボトルリサイクル
  - ・西日本ペットボトルリサイクル(株)
- 蛍光管リサイクル
  - ・(株)ジェイ・リライツ
- 家電リサイクル
  - ・西日本家電リサイクル(株)
- 【次世代循環資源関連企業】
- 太陽光パネルリサイクル
  - ・(株)リサイクルテック((株)新菱他)
 （事業化予定）
- リチウム電池リサイクル
  - ・日本磁力選鉱(株)
 （小型電子機器等のリチウム電池からレアメタルのリサイクルを事業中。将来は車載用リチウム電池のリサイクルに着手予定） 等
- 現在12事業所が立地

リサイクルポートを活用した海上輸送のイメージ



## 具体施策 2 - 海面処分場の計画的な配置・整備

北九州港内及び関門航路の維持・整備で発生する浚渫土砂や、市民生活や企業活動から発生する廃棄物を長期的かつ安定的に処分するため、「海面処分場の計画的な配置・整備」を図る。

▶ 浚渫土砂等の今後の発生量と既存の処分場の残容量や、発生場所からの運搬距離、海域環境への影響、将来的な土地利用ニーズ等を踏まえ、新門司地区、太刀浦地区、響灘地区に新たな処分場を配置し、整備する。

### 海面処分場の確保



#### 具体施策1 - みなとの価値を活かした観光拠点の魅力の向上

国内外からの観光客を呼びこむため、背後のまちづくりと連携し、歴史・産業・自然・構造物等に関する観光資源や集客・商業施設等を活かした「観光拠点の魅力の向上」を図る。

- 民間活力を導入し、遊休地や老朽化した上屋等の観光用途への転換を促進する。
- 観光地内での移動の利便性向上のため、自動運転のグリーンスローモビリティ等の導入を促進する。
- 観光拠点への人々の関心を高めるため、仮想体験ができるデジタルツインやSNSの活用に取り組む。

#### 臨海部の観光資源

##### 響灘地区



響灘地区では、洋上ウインドファーム、ひびきコンテナターミナル、北九州エコタウンを産業観光資源として活用する。

##### 若松地区

###### 若松南海岸



若松地区では、土木遺産に認定された若松港築港関連施設群や明治・大正期の歴史ある施設が多くあり、さらに魅力ある水辺空間を形成するため、周辺の未利用施設等において、賑わい機能を誘導する。

##### 八幡地区

###### 臨海部（緑地）



大型商業施設や博物館群が近隣に集積する東田地区では、広域から訪れる人々が海を感じ憩える空間を創出するため、周遊クルーズ船の発着場の整備や低・未利用地において、民間活力を導入する。



ジ・アウトレット北九州

##### 砂津地区



ミクニワールドスタジアム北九州



クルーズ船受入

MICEやクルーズで訪れる国内外の人々や都心に集う市民をもてなすため、集客施設と連携し、海の景観を眺め憩える水際線の整備や民間開発を誘発する臨海道路や緑地の整備に取り組む。

##### 関門地区



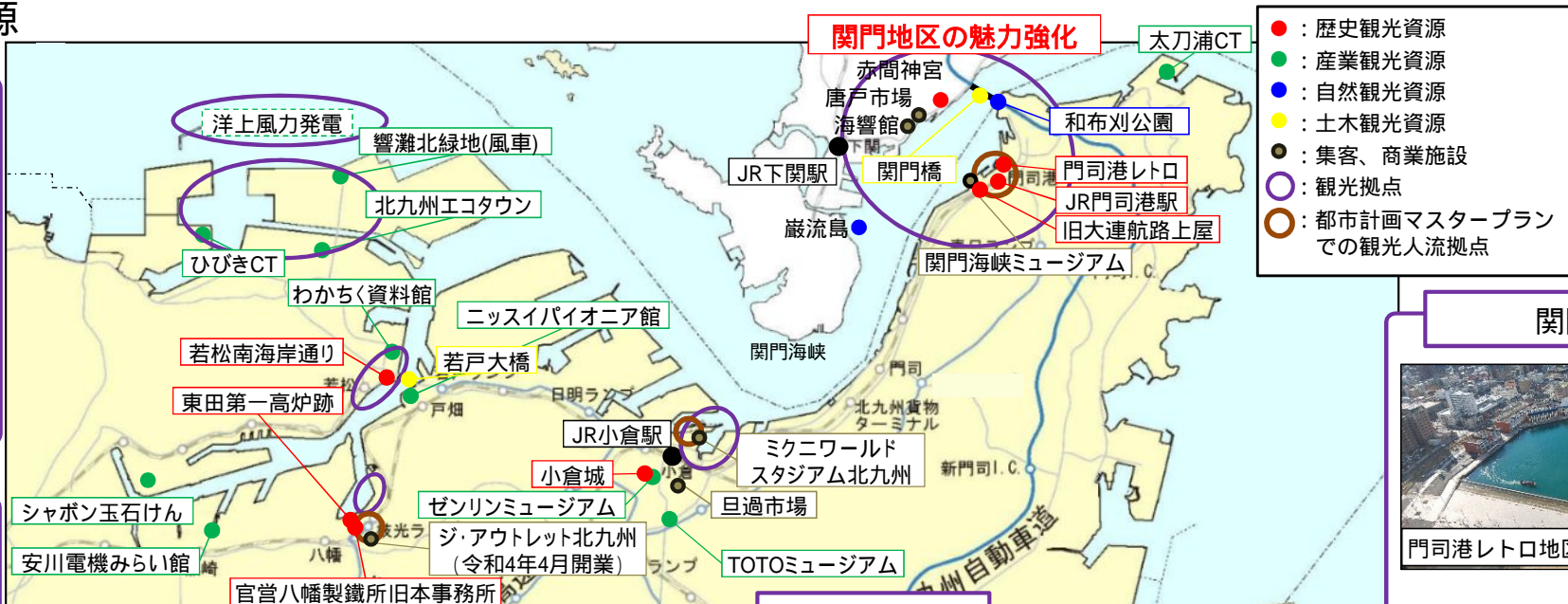
門司港レトロ地区



民間活力導入(ホテル開発)

関門地区の拡大、魅力向上を図るため、公共上屋等の利用転換や低・未利用地において、民間活力を導入する。

#### 関門地区の魅力強化



- : 歴史観光資源
- : 産業観光資源
- : 自然観光資源
- : 土木観光資源
- : 集客、商業施設
- : 観光拠点
- : 都市計画マスタープランでの観光人流拠点

#### 具体施策1 - 観光拠点ネットワークの形成

北九州港の観光拠点や、関門海峡を挟む下関など北九州港周辺の観光拠点について、観光拠点間の周遊性を高めるため、「観光拠点ネットワークの形成」を図る。

➤臨海部の観光拠点を周遊するクルーズ等の観光商品の造成を促進する。

➤内陸部も含めた観光拠点間の周遊性を高めるため、関係交通機関等と連携し、MaaSの活用を促進する。

#### 観光拠点ネットワークの形成



#### 周遊クルーズ



門司港レトロクルーズ



夜景観賞クルーズ

出典：関門汽船㈱HP

#### MaaSの活用

##### MaaS

導入、活用による観光客の利便性向上、観光地の情報発信

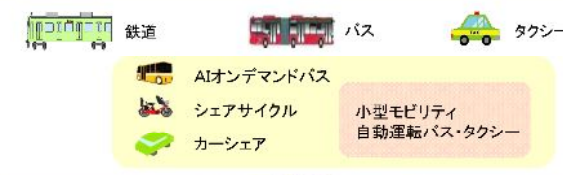
利用者

ひとつのサービスとして提供  
(検索・予約・決済)



出発地

目的地



小売店舗

宿泊施設

医療・福祉

観光地

出典：国土交通省「都市と地方の新たなモビリティサービス懇談会 中間とりまとめ参考資料」

#### 具体施策1 - クルーズを安心して楽しめる受入環境の整備

国内外からの観光客を呼び込むため、将来のインバウンドの再開を見据え、各地区の特長を活かし「クルーズを安心して楽しめる受入環境の整備」を図る。

- ▶ 門司港レトロ地区と砂津地区では、近接する観光拠点や鉄道アクセスを活かし、遊休地や老朽化した上屋等の活用と連携して受入れ機能を強化する。
- ▶ 新門司沖地区（北九州空港）では、北九州港発着のフライ＆クルーズの誘致を図る。
- ▶ これらの地区で受け入れることが出来ない大型クルーズ船については、既存の貨物ターミナルを活用して受け入れる。
- ▶ 寄港地から観光目的地までの移動の利便性向上を図るため、第2次交通アクセスについて MaaSの活用や旅行商品の造成等を促進する。

#### クルーズ船が寄港する拠点の強化



## 具体施策 2 - 市民に親しまれる水辺空間の魅力の向上

海辺で市民が憩いや安らぎ、地域のにぎわいを創出するため、憩い・学び・遊ぶことができる「市民に親しまれる水辺空間の魅力の向上」を図る。

- ▶サイクリングや散策、眺望などが楽しめる水辺空間の活用に取り組む。
- ▶デジタルツイン等の活用により、水辺空間を訪れる付加価値の向上に取り組む。
- ▶水辺空間の魅力の発信や利便性の向上を図るため、SNSやMaaS等を活用する。

### 水辺空間の活用



現地で体験できるVR動画 (デジタルツイン)

資料：観光庁「最先端ICT(VR/AR等)を活用した観光コンテンツ活用に向けたナレッジ集」より作成



港湾緑地 (大里海岸緑地)



サイクリング (若松北海岸)



ガントリークレーン(ひびきCT)の見える風景

### SNSやMaaSの活用



### 【北九州市での取組事例】 my route (2019年11月～)



出典：my route HP

様々な移動手段を組み合わせるルートを検索し、予約・決済まで行うことで移動をサポート。地域のイベント・スポット情報も提供し、外出のきっかけ作りや街の賑わい創出に貢献。

## 具体施策2 - マリンレジャー拠点の充実

ヨットや釣り等のマリンレジャーの需要の増加に応えるため、「マリンレジャー拠点の充実」を図る。

- 新門司マリーナにおいて、民間活力を活用し、収容船舶の増加や大型化への対応を図るとともに、若松地区で係留機能を確保する。
- 日明海峡海釣り公園等の釣り施設の活用に加え、釣りを通じた地域振興活動の充実や活性化に取り組む。

### マリンレジャー拠点



### ヨット(マリーナ施設)

#### 新門司マリーナの機能強化



出典：新門司マリーナHP

#### 若松南海岸船だまり



### 釣り

#### 釣り施設



#### 釣りを通じた地域振興



(北九州釣りいこか倶楽部HP)

#### マリンレジャーの事故防止

マリンレジャーを安全に楽しむため、事故防止対策について、関係機関が連携して取り組む。



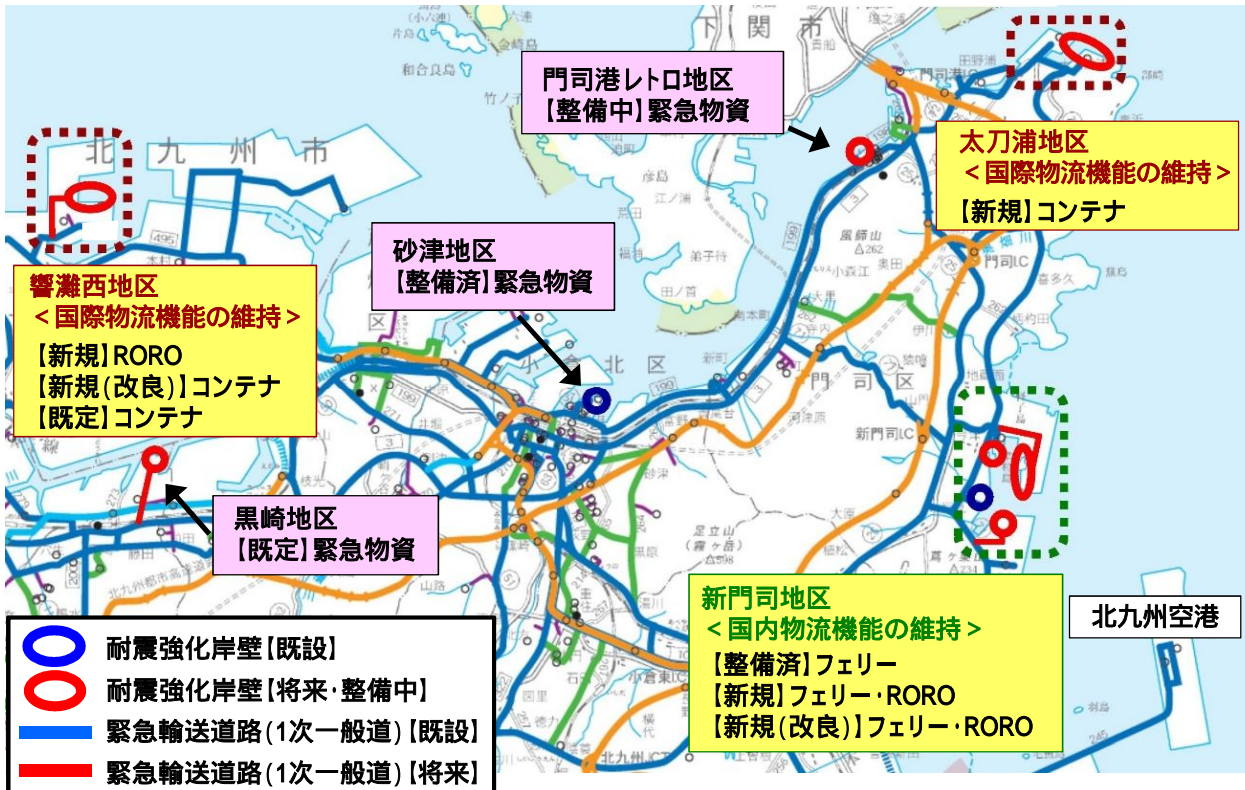
出典：第七管区海上保安部定例記者懇談会資料

## 具体施策 1 - 災害に強い基幹的海上交通ネットワークの拡充

災害時に、企業のサプライチェーンと緊急物資輸送機能を維持するため、「災害に強い基幹的海上交通ネットワークの拡充」を図る。

- 国内物流拠点である新門司フェリーターミナルや、国際物流拠点である太刀浦・ひびきコンテナターミナルにおいて、耐震強化岸壁の整備を行う。
- 緊急物資輸送の拠点のうち耐震強化岸壁が未整備である門司港レトロ地区と黒崎地区において、耐震強化岸壁の整備を行うとともに、耐震強化岸壁と背後の緊急輸送道路網とを結ぶ臨港道路の整備を行う。
- 港湾の利用可否の判断や施設復旧を迅速に行うため、被災状況の把握にリモートセンシング技術等を導入する。

### 強靱な港湾物流拠点の確保（耐震強化岸壁等整備計画）



### 被災状況把握等の高度化

- ・ ドローンや衛星等のリモートセンシング技術を活用し、港湾における被災状況等を迅速かつ効率的に把握する。



自律制御型ドローンによる被災状況把握のイメージ

資料：国土交通省「リモートセンシング技術による被災状況把握高度化検討委員会資料」より作成



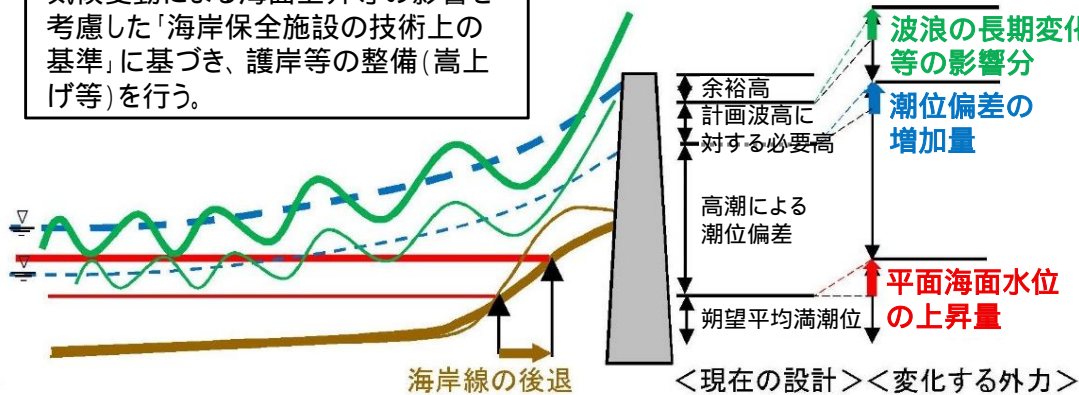
## 具体施策 1 - 激甚化する気象災害に備えた防災機能の向上

台風の強大化や海面水位の上昇等により頻発化・激甚化する高潮等の災害から、市民の生命・財産や社会経済活動を守るため、ハード・ソフトが一体となった「防災機能の向上」を図る。

- 将来の外力の強大化を考慮して、港湾施設や海岸保全施設の整備を行う。
- 災害時に被害を最小限に抑えるため、ハザードマップの活用等による防災意識の向上や安全な場所への迅速な避難の確保を図るとともに、港湾利用者によるコンテナの流出対策等の減災対策を行う。
- 港湾を取り巻く社会状況の変化や気象災害の激甚化に対応した港湾BCPの高度化を継続的に行うとともに、訓練の実施により港湾関係者の災害対応力を強化する。

### 海岸保全施設による高潮等への防災・減災対策

気候変動による海面上昇等の影響を考慮した「海岸保全施設の技術上の基準」に基づき、護岸等の整備（嵩上げ等）を行う。



資料：国土交通省「気候変動を踏まえた海岸保全のあり方提言【概要】」の外力変化イメージより作成

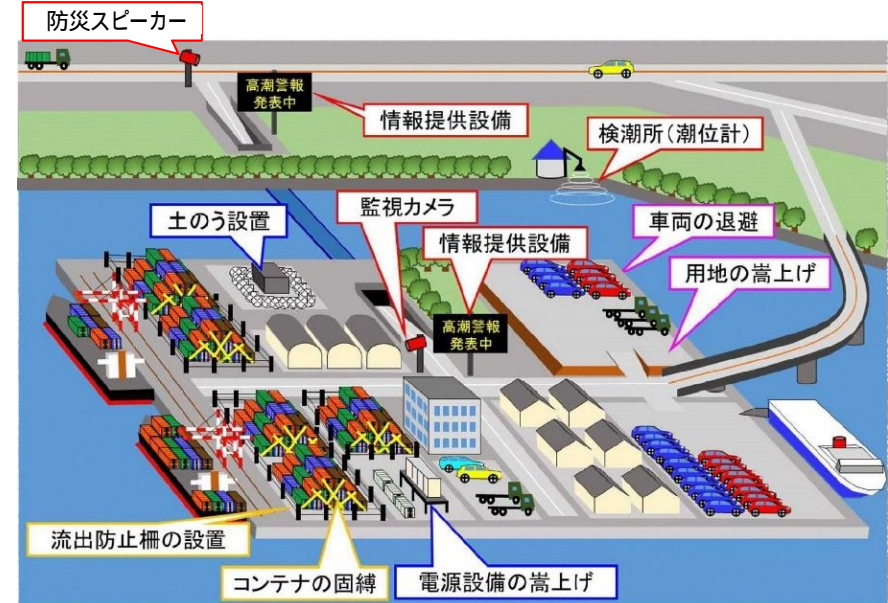
#### 海岸保全施設の整備事例

- ・平成11年台風18号では周防灘沿岸（新門司、白野江地区）を中心に甚大な高潮・高波災害を被り、護岸の嵩上げや消波ブロックの設置を進めている。



嵩上げ事例（新門司北護岸）

### 港湾施設による高潮等への防災・減災対策



出典：国土交通省「港湾の堤外地等における高潮リスク低減方策ガイドライン（改訂版）」

#### ソフト対策

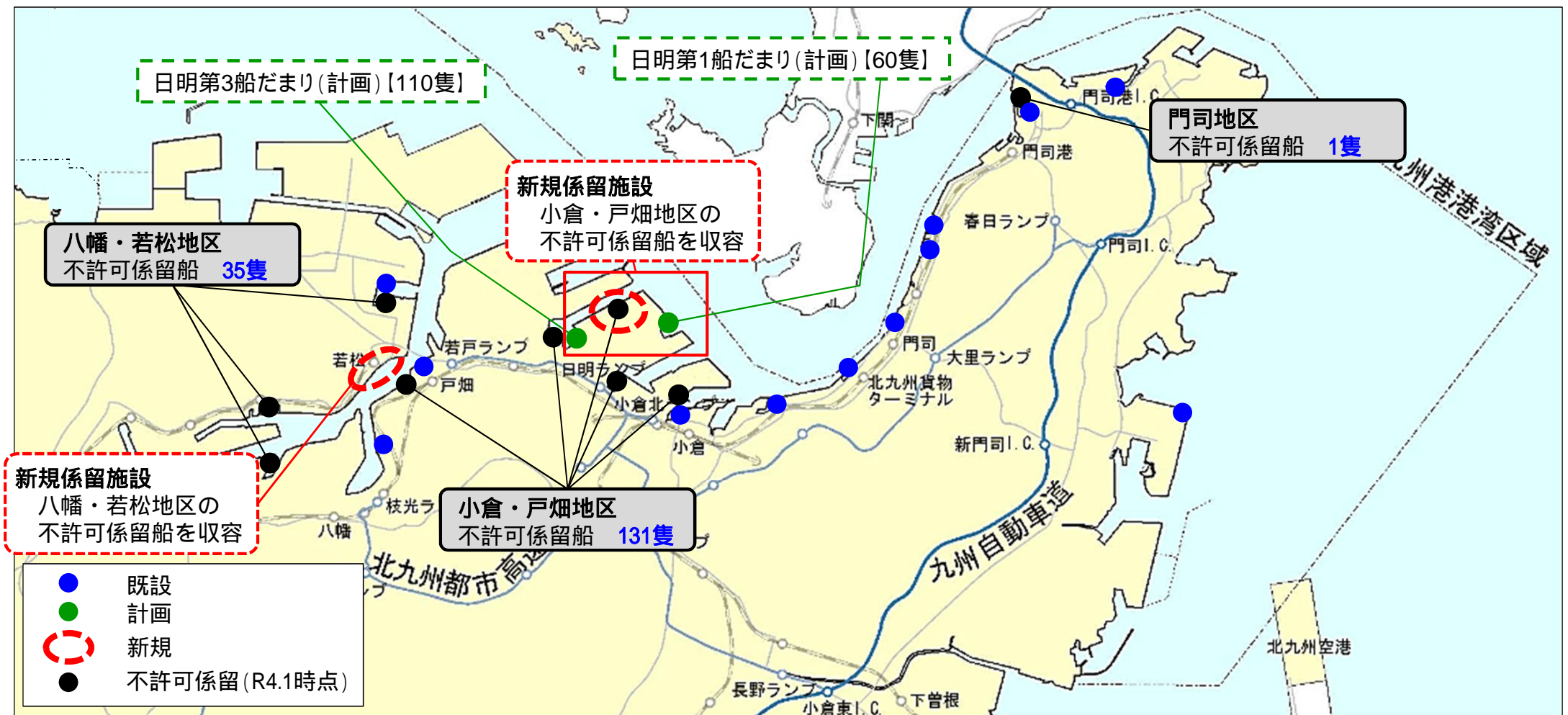
- ・ハザードマップ等の活用に加え、旅行者等の情報収集が困難な避難者に対しては、防災スピーカーや予定避難所表示板等を活用し、迅速な避難が確保できるよう、情報伝達体制を強化する。

## 具体施策 1 - 不許可係留船の計画的な収容

高潮時における航路閉塞等の要因となる不許可係留船を適正な場所に収容し、災害時における水域の安全性の確保等を図るため、「不許可係留船の計画的な収容」を行う。

- ▶ 日明地区や若松地区において、不許可係留船の状況を考慮し、小型船係留施設を適正な場所に配置・整備する。
- ▶ 収容能力の向上に合わせ、放置禁止区域の指定等、規制措置の実施についても取り組む。

### 不許可係留船の適正配置

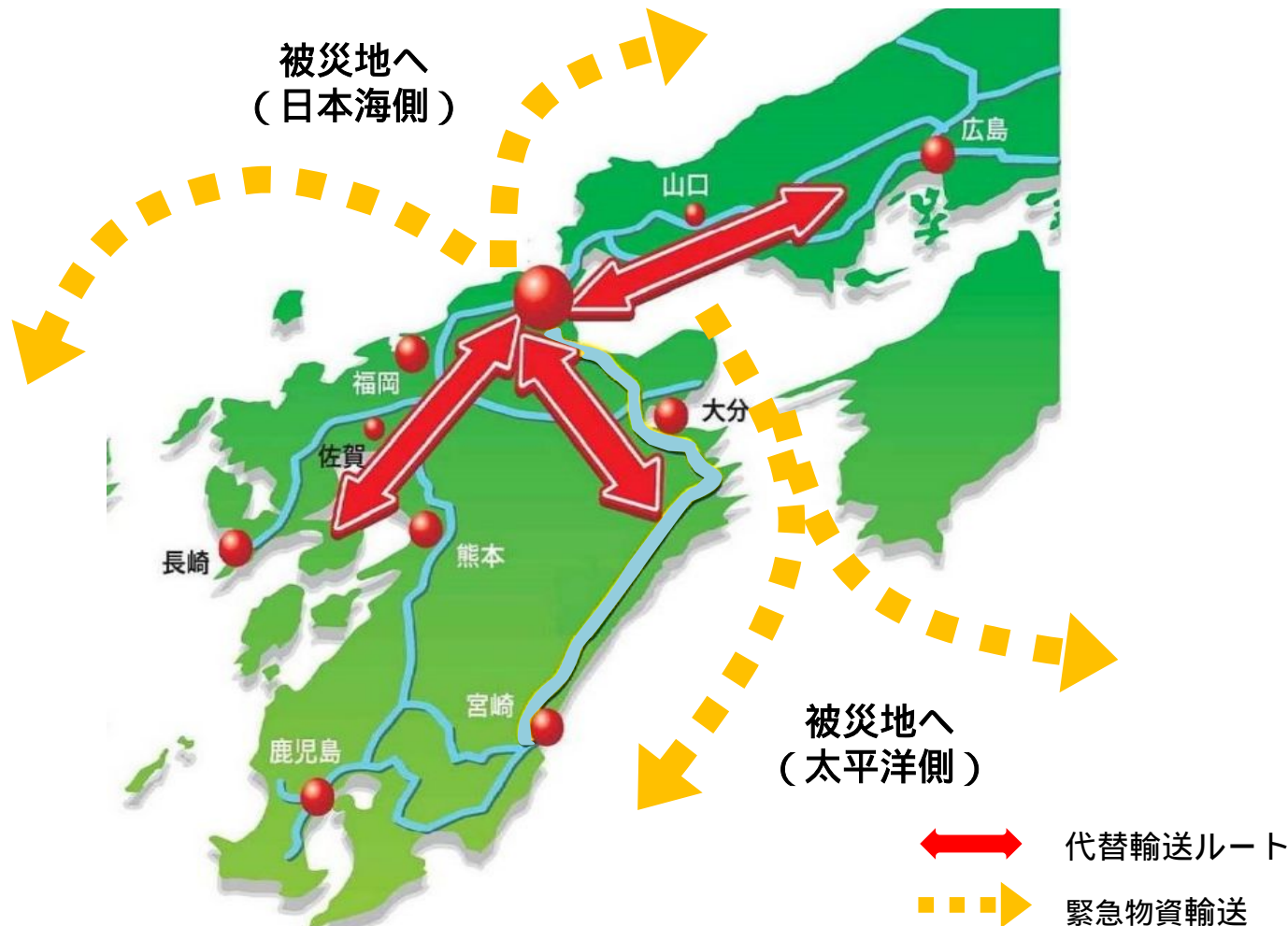


## 具体施策 1 - 臨海部広域支援拠点の形成

南海トラフ地震等の大規模災害発生時に被災地域の復旧・復興を支援するため、太平洋側と日本海側の両方の海域と繋がる北九州港の地理的優位性や大規模災害が少ない特性を活かし、「臨海部広域支援拠点の形成」を図る。

- ▶ 自衛隊や海上保安庁等の緊急物資輸送船による被災地への緊急物資や建設機材等の輸送を支援する。
- ▶ 北九州港のフェリー・コンテナ等の物流インフラを最大限活用し、被災地の物流機能を代替維持する。

### 災害時の対応イメージ



緊急物資輸送用耐震強化岸壁  
(臨海部防災拠点イメージ)

出典：国土交通省「臨海部防災拠点マニュアル」



砂津地区での物資輸送訓練状況（平成30年1月）

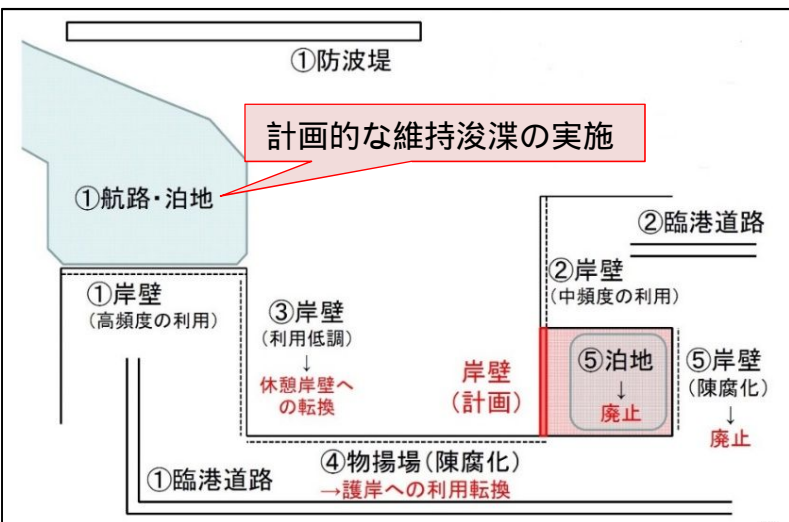
## 具体施策 2 - 港湾施設の戦略的なアセットマネジメントの推進

将来にわたって北九州港の港湾機能を維持するため、地球温暖化による海面上昇等の気候変動や車両の大型化等の社会状況の変化を踏まえ、「港湾施設の戦略的なアセットマネジメントの推進」を図る。

➤Cyber Portによりデジタル情報を活用して予防保全型の維持管理へ転換し、港湾施設の利用状況を見極めながら戦略的な施設の更新、再編、集約、廃止、利用転換を図る。

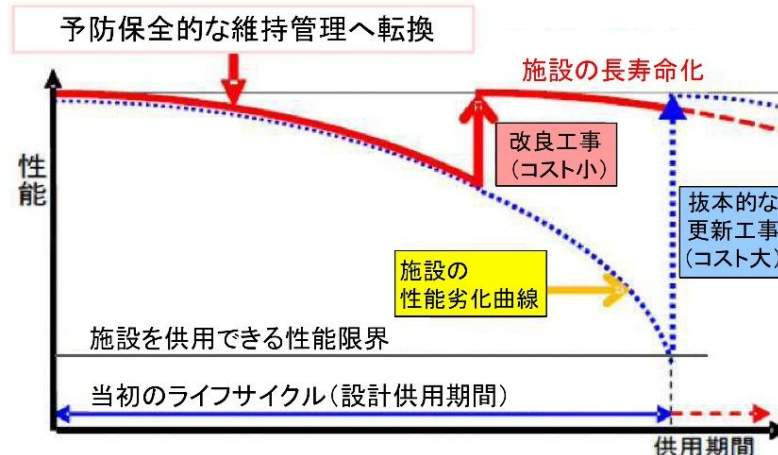
➤航路・泊地については、計画的な維持浚渫を実施し、安全で円滑な航行環境を確保する。

### 港湾施設の更新、再編、集約等のイメージ



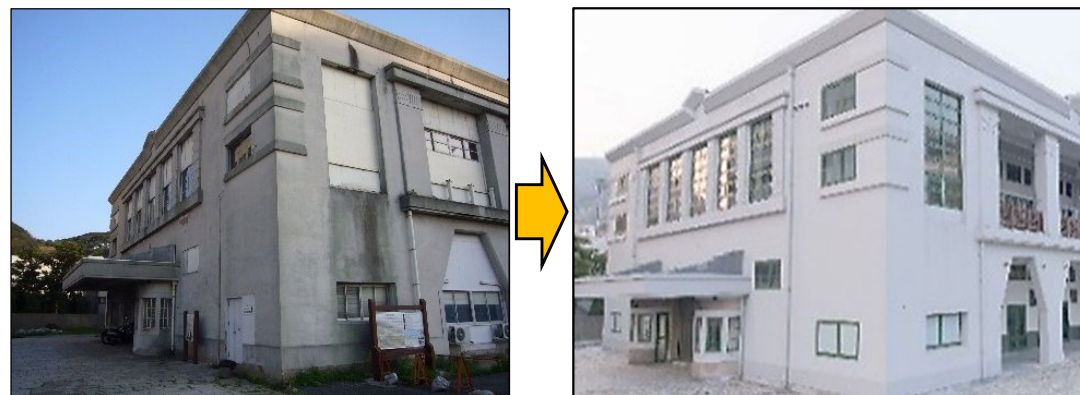
優先的に老朽化対策を実施  
今後、老朽化対策を実施  
利用転換（休憩岸壁）  
利用転換（護岸等）  
廃止

### 予防保全型維持管理への転換



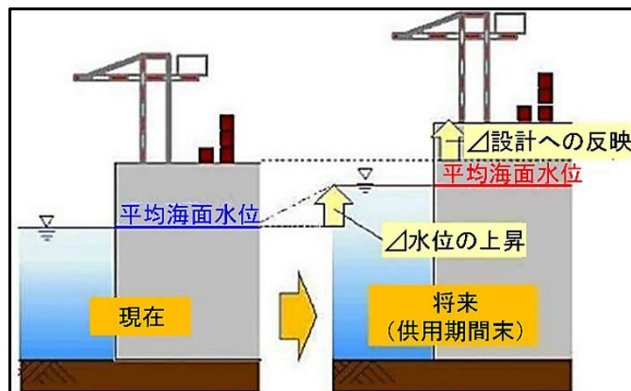
出典：国土交通省「港湾施設の戦略的な維持管理の推進について」

### 港湾施設を利用転換した事例



公共上屋を交流施設へ利用転換（旧大連航路上屋）

資料：国土交通省「港湾施設の戦略的な維持管理の推進について」より作成  
温暖化による海面上昇を考慮した施設の改良イメージ



資料：国土交通省「今後の港湾におけるハード・ソフト一体となった総合的な防災・減災対策のあり方」より作成

## 世界とつながり産業を支えるみなと

具体施策	施策内容	目標時期		地区
		短期・中期	長期	
1 コンテナ輸送機能の強化				
1- アジア航路・国際フィーダー航路の拡充	本市・筑豊・東九州・本州方面の集貨	[Red Arrow]		響灘西、太刀浦
	日本海側港湾間を結ぶ航路による広域集貨	[Red Arrow]		響灘西
1- 次世代高規格コンテナターミナルの形成	Cyber Port、CONPASの導入・連携	[Red Arrow]		響灘西、太刀浦
	コンテナ蔵置場所最適化を図るAIシステム、遠隔操作RTGの導入	[Red Arrow]		響灘西、太刀浦
	太刀浦CTの再編	[Red Arrow]		太刀浦
1- ロジスティクスハブの拡充	老朽化した倉庫群の再編	[Red Arrow]		太刀浦
	CT背後への流通加工・組立加工機能を有する物流施設の立地促進	[Red Arrow]		響灘西、太刀浦
	高速道路IC周辺へのマルチテナント型物流倉庫の立地促進	[Red Arrow]		

具体施策	施策内容	目標時期		地区
		短・中期：概ね15年後まで 長期：概ね15年後以降		
		短期・中期	長期	
<b>2 複合一貫輸送機能の強化</b>				
2 - 次世代高規格フェリー・ROROターミナルの形成	自動離着岸装置、ターミナル内横持ち自動運転の導入			新門司、響灘西ほか
	日韓及び日中のシャーシ相互通行の実現			新門司北
	フェリー荷捌き地の拡張			新門司北
	フェリー・ROROターミナルの整備			新門司、響灘西
2 - 国際自動車輸送拠点の形成	自動車の輸出機能の強化			新門司北、響灘西
2 - シー&エアー、シー&レールの促進	シー&エアーの促進			新門司沖
	シー&レールの促進			新門司、響灘西
<b>3 在来貨物輸送機能の強化</b>				
3 - 国際バルク貨物ターミナルの拡充	バルク岸壁の整備			響灘東
<b>4 臨海部交通ネットワークの強化</b>				
4 - アクセス道路の充実	道路機能の強化、広域ネットワークの強化			
	空港島への道路機能の強化			
<b>5 物流産業や先端成長産業等の集積</b>				
5 - 産業用地の確保と企業の立地促進	産業用地の確保			
	先端成長産業等の誘致			

## カーボンニュートラルや循環型社会の実現を牽引するみなと

具体施策	施策内容	目標時期		地区
		短期・中期	長期	
1 港湾を活用したカーボンニュートラルの実現				
1- 洋上ウインドファームの集積と風力発電関連産業の総合拠点の形成	洋上ウインドファームの集積			響灘東
	風力発電関連産業の総合拠点の形成			
1- 水素・燃料アンモニア等リキッドバルク拠点の形成	水素・アンモニア等の輸入等の環境の整備			
	再生可能エネルギーを利用した水素等の製造			
	分離・回収したCO2の輸送の環境の整備			
	カーボンフリーな代替燃料のバンカリング拠点の形成			
1- カーボンフリーターミナルの形成	公共ターミナルにおける水素等の利活用			
1- モーダルシフトを促進するフェリー・RORO拠点機能の強化	(再掲) 自動離着岸装置、ターミナル内横持ち自動運転の導入			
	(再掲) フェリー荷捌き地の拡張			
	(再掲) フェリー・ROROターミナルの整備			
1- ブルーカーボン生態系の保全・再生・創造	藻場の造成			新門司、響灘西
	ブルーカーボン・オフセット制度の活用			新門司北、響灘西ほか
2 港湾を活用した循環型社会の実現				
2- 新たな循環資源に対応したリサイクルの活用促進	循環資源の広域利用			響灘東
2- 海面処分場の計画的な配置・整備	海面処分場の整備			新門司、太刀浦、響灘東

## 国内外の人々が訪れ、憩い、賑わうみなと

具体施策	施策内容	目標時期		地区
		短期・中期	長期	
1 観光振興の推進				
1-1-1 みなとの価値を活かした観光拠点の魅力の向上	民間活力を導入した公共上屋等の活用			門司港レトロ、砂津、八幡、若松
	グリーンスローモビリティ等の導入			
	デジタルツイやSNSの活用			
1-1-2 観光拠点ネットワークの形成	周遊クルーズ等の促進			
	観光客の移動利便性向上のためのMaaSの活用			
1-1-3 クルーズを安心して楽しめる受入環境の整備	遊休地や上屋等の活用と連携した受入機能の強化			門司港レトロ、砂津
	フライ&クルーズの実施			新門司沖
	既存貨物ターミナルを活用した受入れ			
	観光客の移動利便性向上のためのMaaSの活用（寄港地から観光目的地までの第2次交通アクセス）			
2 海辺の賑わいの創出				
2-1-1 市民に親しまれる水辺空間の魅力の向上	サイクリングや散策等が楽しめる水辺空間の活用			新門司北、響灘東ほか
	デジタルツイン等の活用による水辺空間の付加価値向上			
	SNSやMaaS等の活用による魅力発信、利便性向上			
2-1-2 マリンレジャー拠点の充実	マリーナ等の機能強化			新門司北、若松
	釣り施設の活用、釣りを通じた地域振興活動			



## 安全・安心を感じられ、産業活動を継続できる強靱なみなと

具体施策	施策内容	目標時期		地区
		短・中期：概ね15年後まで 長期：概ね15年後以降		
		短期・中期	長期	
1 港湾の防災・減災機能の強化				
1 - 災害に強い基幹的海上交通ネットワークの拡充	耐震強化岸壁の整備			門司港レトロ、黒崎ほか
	臨港道路の整備			新門司、黒崎、響灘東
	被災状況を把握するリモートセンシング技術の導入			
1 - 激甚化する気象災害に備えた防災機能の向上	将来の外力の強大化を考慮した施設の整備			
	ハザードマップの活用等のソフト対策の実施			
	港湾関係者の災害対応力の強化			
1 - 不許可係留船の計画的な収容	小型船係留施設の整備			日明、若松
	放置禁止区域の指定			
1 - 臨海部広域支援拠点の形成	被災地への緊急物資等の海上輸送による支援			
	被災地の物流機能の代替			
2 適正な港湾管理の推進				
2 - 港湾施設の戦略的なアセットマネジメントの推進	戦略的な施設の更新、再編・集約、廃止、利用転換			
	計画的な維持浚渫の実施			

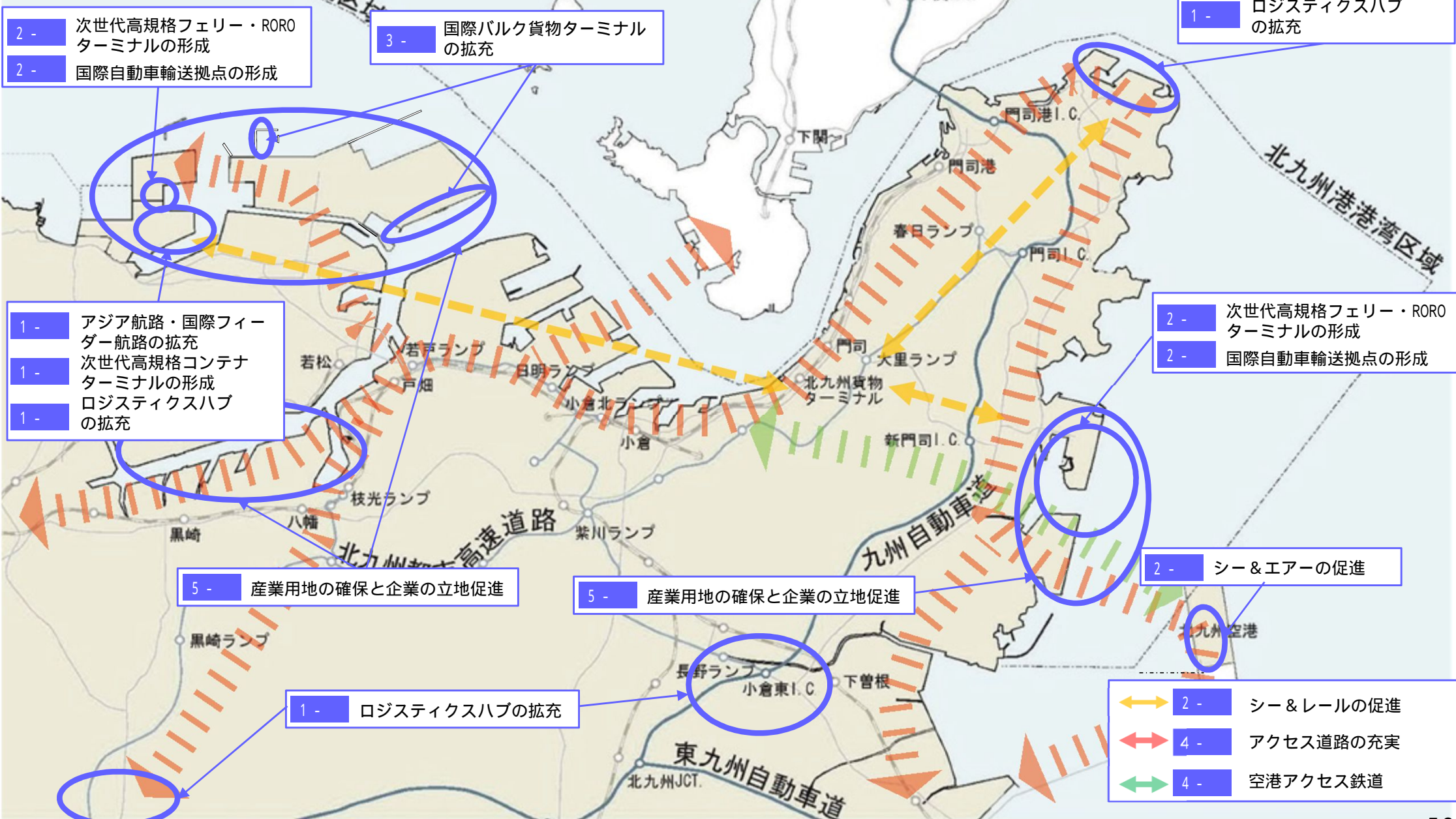
## 2 長期構想の内容

### 2 - 4 ゾーニング（分野別）

## 世界とつながり産業を支えるみなと

8	働きがいも経済成長も	9	産業と技術革新の基盤をつくろう	11	住み続けられるまちづくりを	17	パートナーシップで目標を達成しよう
---	------------	---	-----------------	----	---------------	----	-------------------

- 1 - アジア航路・国際フィーダー航路の拡充
- 1 - 次世代高規格コンテナターミナルの形成
- 1 - ロジスティクスハブの拡充



- 2 - 次世代高規格フェリー・ROROターミナルの形成
- 2 - 国際自動車輸送拠点の形成

- 3 - 国際バルク貨物ターミナルの拡充

- 1 - アジア航路・国際フィーダー航路の拡充
- 1 - 次世代高規格コンテナターミナルの形成
- 1 - ロジスティクスハブの拡充

- 5 - 産業用地の確保と企業の立地促進

- 5 - 産業用地の確保と企業の立地促進

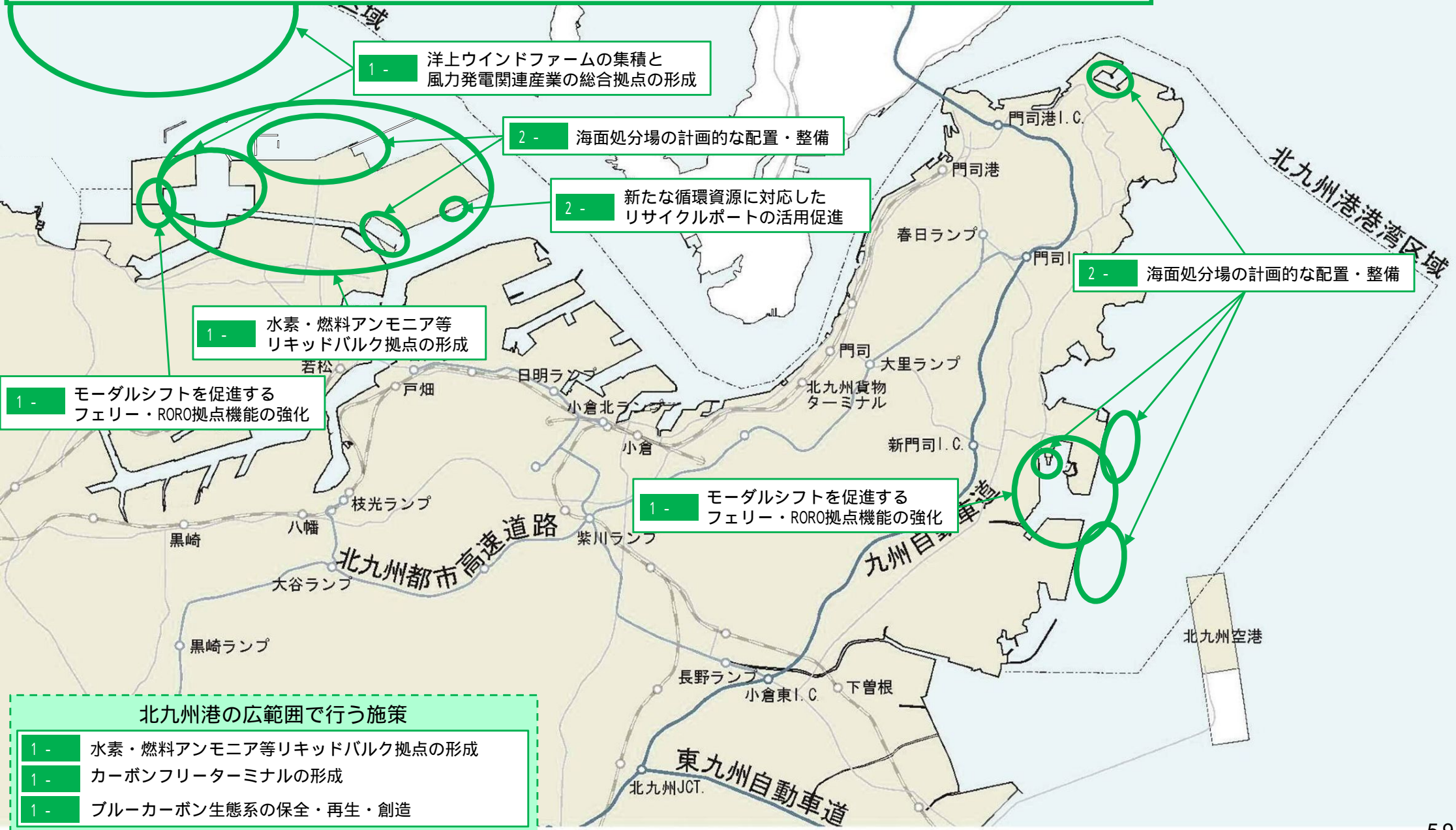
- 2 - 次世代高規格フェリー・ROROターミナルの形成
- 2 - 国際自動車輸送拠点の形成

- 2 - シー&エアの促進

- 1 - ロジスティクスハブの拡充

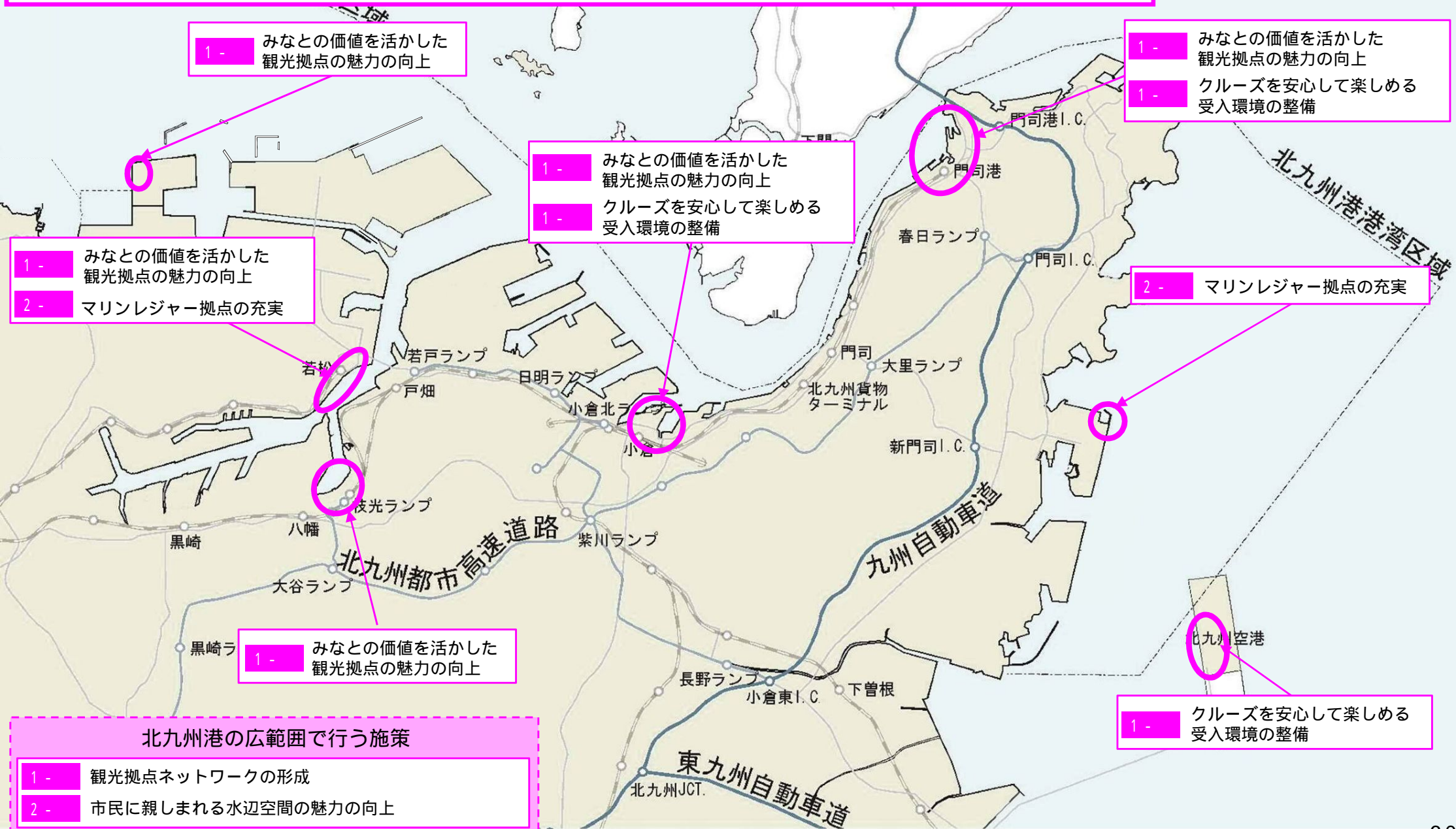
- 2 - シー&レールの促進
- 4 - アクセス道路の充実
- 4 - 空港アクセス鉄道

## カーボンニュートラルや循環型社会の実現を牽引するみなと



8 働きがいも 経済成長も	11 住み続けられる まちづくりを	14 海の豊かさを 守ろう	17 パートナーシップ 目標を達成しよう
---------------------	-------------------------	---------------------	----------------------------

## 国内外の人が訪れ、憩い、賑わうみなと



9 産業と技術革新の基盤をつくろう	11 住み続けられるまちづくりを	13 気候変動に具体的な対策を	17 パートナーシップで目標を達成しよう
-------------------	------------------	-----------------	----------------------

## 安全・安心を感じられ、産業活動を継続できる強靱なみなと

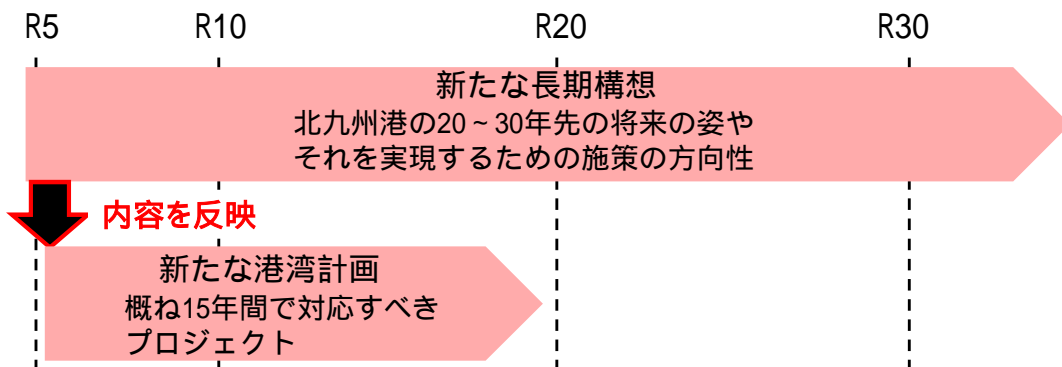


# 2 長期構想の内容

## 2 - 5 長期構想の推進体制

早期に取り組むべき施策については、北九州港港湾計画への反映を行う等、その実現に向け、港湾関係者や関係行政機関等と連携して取り組みを進める。  
広く市民の方に北九州港の多様な役割や市民生活との関わり合いを理解していただくため、SNSやイベント等を活用した情報発信を行う。  
港湾労働者や海員、各種技術者等の港湾に関する仕事に従事する人材の確保や育成を促進するため、DXの推進等により働きやすい“みなとづくり”に取り組む。  
施策を進める途中で、社会経済情勢等が変化する可能性もあることから、情勢の変化を見落とさぬよう、継続的にPDCAサイクルを実行する。

## 北九州港港湾計画への反映



## 官民の連携した取り組み

### 《利用しやすい港づくり懇話会》

- ・設立：平成13年12月
- ・構成：官民31団体(オブザーバー含む)
- ・取組：北九州港の振興のため、港湾関係者が一体となり、北九州港の振興策について検討。策定した振興策について官民一体となって取組み、取組状況についてフォローアップを実施。



懇話会の様子

## 具体施策を円滑に進めるための取り組み

### 《港に対する市民理解の促進》

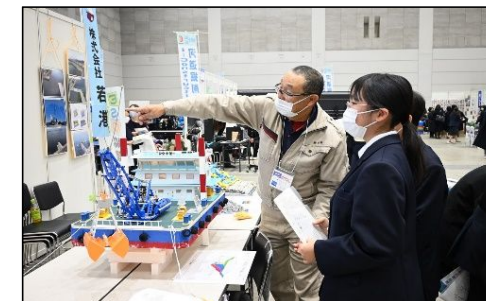
- ・工事見学会やイベントでの船舶の公開等を通じたPR活動を行う
- ・市民の方が気軽に港湾に触れる機会を増やすため、市民に親しまれる水辺空間を創出する

### 《人材の確保や育成》

- ・産学官が連携して、高校生等に海や港に関わる仕事内容を紹介する機会を設ける等、若年層が港湾に興味を持つ取り組みを行う
- ・デジタル化の推進による業務の効率化や女性労働者の働きやすい環境整備等の働き方改革を進める



開港130周年記念事業での  
浚渫兼油回収船の一般公開



高校生等への海や港の仕事の紹介  
(北九州ゆめみらいワーク2021より)63